

88-2 No. 68
年少労働調査資料第62集

親元を離れて働く青少年の 生活と意識に関する調査結果

昭和48年8月

労働省婦人少年局

序

親元を離れて働いている青少年は、全産業の勤労青少年のなかで4人に1人の割合であり、これら勤労青少年の保護福祉についての適切な施策が必要となっている。

本調査は、このうちとくに事業所に附属する寄宿舎に生活する青少年の生活と意識および事業所における寄宿舎居住青少年指導の実態等を明らかにすることを目的として行なつたものである。

この報告書が勤労青少年問題に関心をもたれる方々の御参考になれば幸いである。

なお、調査実施に際し、御協力を頂いた方々に対し、深く感謝の意を表する次第である。

昭和48年8月

労働省婦人少年局

目 次

親元を離れて働く青少年の生活と意識に関する調査結果

I	寄宿舍に生活する勤労青少年に関する調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の範囲	1
3	調査事項	1
4	調査実施期間	1
5	調査機関	1
6	調査の方法	1
II	寄宿舍生活における勤労青少年（調査結果）	2
1	事業所における寄宿舍管理	2
(1)	調査対象事業所の構成	2
(2)	事業所の概況	2
1)	総労働者に占める勤労青少年	2
2)	寄宿舍に居住する勤労青少年	2
3)	学卒者の地域別採用状況	3
4)	交替制の採用状況	5
5)	年次有給休暇請求状況	5
(3)	寄宿舍の概況	6
1)	寄宿舍の規模	6
2)	建物の概観	6
3)	寄宿舍の設置位置	8
4)	寄宿舍管理の概況	8
5)	寄宿舍費等の徴収状況	11
(4)	寄宿舍勤務者の概況	13
1)	勤務者の職種と人数	13
2)	勤務者の通勤・寄宿舍居住の状況	14
3)	管理運営についての話し合いの機会	15
4)	勤務者の指導状況	16
(5)	居住青少年の寄宿舍生活適応のための施策	17
1)	同室者の選定方法	17

2) 指導員の活動状況	18
3) 寄宿舍内でのカウンセリング	19
4) 寄宿舍内の福祉施設	21
(6) 寄宿舍内でのレクリエーション	22
1) レクリエーション・リーダー	22
2) クラブ・サークル活動	23
3) クラブ・サークル活動への事業所援助費	24
4) 居住青少年が参加した行事	25
5) 男女交流の機会	27
(7) そ の 他	28
1) 居住者の苦情	28
2) 居住者と勤務者とのもめごと	29
3) 寄宿舍内での事故	30
2 寄宿舍における青少年の生活と意識	32
(1) 寄宿舍に居住する青少年の概況	32
1) 調査対象者の構成	32
2) 居住青少年の概況	32
3) 仕事の内容と交替制	34
(2) 寄宿舍に居住する青少年の余暇の過ごし方	36
1) 通学状況	36
2) 学習の場所	36
3) 余暇を過ごす場所	37
4) 余暇の過ごし方	40
5) 週休2日制と余暇の過ごし方	43
(3) 寄宿舍に居住する青少年の給料の使い方	47
1) 手取り給与額	47
2) 生活基本費	48
3) 教養娯楽費	48
4) 親元への送金	50
5) 貯金額	50
(4) 寄宿舍に居住する青少年の生活意識	52
1) 寄宿舍の住みごころ	52

2) 寄宿舍生活の継続意識.....	5 2
3) 苦情やなやみごとなど.....	5 4
4) 苦情・なやみごとの相談相手.....	5 6
5) 親元への連絡.....	5 7

参考資料

統 計 表.....	5 9
寄宿舍に生活する勤労青少年に関する調査票	6 1

I 寄宿舎に生活する勤労青少年に関する調査の概要

1 調査の目的

この調査は、勤労青少年の寄宿舎生活の実態および意識ならびに事業所における寄宿舎居住の青少年指導の実態等をは握し、寄宿舎居住勤労青少年の職場適応のための基礎資料とすることを目的とする。

2 調査の範囲

(1) 地 域

日本国全域（ただし、沖縄県を除く。）

(2) 対 象

1) 事業所

製造業に属し、従業員30人以上を雇用する民営事業所で、事業附属寄宿舎を設置するもののうちから、一定の方法により抽出された318事業所

2) 勤労青少年

上記1)の事業所の設置する寄宿舎に居住する勤労青少年のうち、一定の方法により抽出された2951人

3 調査事項

(1) 寄宿舎管理票（事業所票）に関する事項

1) 寄宿舎の概況

2) 寄宿舎勤務者の概況

3) 居住青少年の寄宿舎生活適応のための施策

4) 寄宿舎内でのレクリエーション

5) その他

(2) 勤労青少年票に関する事項

1) 余暇のすごし方

2) 給料の使い方

3) 寄宿舎生活の意識

4 調査実施期間

昭和47年11月1日～11月30日

5 調査機関

労働省婦人少年局一婦人少年室一統計調査員

6 調査の方法

寄宿舎管理票（事業所票） 実地他計

勤労青少年票 実地自計

Ⅱ 寄宿舎生活における勤労青少年（調査結果）

1 事業所における寄宿舎管理

(1) 調査対象事業所の構成

調査対象となつた寄宿舎のある事業所の企業規模についてみると、300人未満が多く60.7%で、このうちの約半分である29.9%が30～99人の企業である。事業所規模についてみると、30～99人は45.6%で、企業規模とは異なつた傾向がみられる（第1表）。

(2) 事業所の概況

1) 総労働者に占める勤労青少年

調査対象となつた事業所における総労働者に占める男女の比率は、男子65.8%に対し女子34.2%である。15～24才の青少年の占める割合は総数の38.7%で、女子のほうが男子より多く21.3%で、企業規模別にみると、大企業に若年女子が多く、この点総労働者に占める女子とは異なつた傾向がみられる。青少年層を未成年層（15～19才）と成人層（20～24才）にわけると、成人層が多く総数の23.6%である（第2表）。

2) 寄宿舎に居住する勤労青少年

調査対象事業所で寄宿舎に生活する労働者は21.8%で、とくに、1,000人以上の規模の企業にその割合が多く、23.8%である。寄宿舎に居住する労働者の大部分は青少年で、89.1%となつている。調査対象事業所における勤労青少年の2人に1人は寄宿舎に居住しており、規模の大きい企業のほうに寄宿舎に居住する青少年が多い。

寄宿舎に居住する青少年を男女別にみると、男子43.2%、女子56.8%で、男子は企業規模の小さい企業にいくぶん多く、女子は大企業に若干多い。青少年の年齢分布状況をみると、15～19才と、20～24才の層が半々となつている（第3表）。

第1表 調査対象事業所の構成

規 模		有効回収数	構 成 比
総 数		318	100%
企業規模	1000人以上	68	21.4
	500～999人	57	17.9
	100～299人	98	30.8
	30～99人	95	29.9
事業所規模	500人以上	46	14.5
	100～499人	127	40.0
	30～99人	145	45.6

第2表 事業所における総労働者に占める勤労青少年の割合

(単位%)

企業規模	総労働者数			うち勤労青少年数(15～24才)				
	総数	男	女	小計	男	女	15～19才	20～24才
総 数	100.0	65.8	34.2	38.7	17.4	21.3	15.1	23.6
1000人以上	100.0	67.7	32.3	41.4	18.2	23.2	16.0	25.4
500～999人	100.0	65.2	34.8	35.4	15.6	19.8	14.4	21.0
100～299人	100.0	61.5	38.5	32.1	15.2	16.8	11.6	20.5
30～99人	100.0	60.3	39.7	38.9	20.4	18.5	17.2	21.7

第3表 事業所における寄宿舎居住者に占める勤労青少年の割合

(単位%)

企業規模	総労働者に 占める寄宿 舎居住者の 率	寄宿舎居住 者に占める 勤労青少年 の率	勤労青少年 総数に占め る寄宿舎居 住者の率	寄宿舎居住勤労青少年				
				計	男	女	15～ 19才	20～ 24才
総 数	21.8	89.1	50.3	100.0	43.2	56.8	50.0	50.0
1000人以上	23.8	90.8	51.4	103.0	44.0	56.0	49.4	50.6
500～999人	20.7	86.8	50.7	100.0	36.8	63.2	53.2	46.8
100～299人	16.8	83.5	43.6	100.0	45.5	54.5	48.3	51.7
30～99人	19.0	94.4	46.0	100.0	51.0	49.0	51.3	48.7

3) 学卒者の地域別採用状況

最近2年間における学卒者の採用状況を地域別にみると、通勤圏のみに依存するものは少なく、9.4%で、大部分の事業所は通勤圏と遠隔地とから採用しており、81.8%である。学卒者を遠隔地から採用しているものは大企業に多く、7割以上遠隔地に依存しているものは1000人以上では52.9%であるが、100～299人は36.7%となっている。

最近2年間に、中学・高校の学卒者を採用しなかつた事業所は5%で、企業規模が小さい事業所にその割合が多く、30～99人では8.4%である（第4表）。

学卒者の学歴別採用状況をみると、第5表に示すとおり、中卒と高卒をともに採用している事業所が60.7%で最も多い。高卒者のみ採用している事業所は25.8%で、大企業ほどその割合が多い傾向がみられ、1,000人以上は36.8%であるが、30～99人では14.7%である。中卒者のみ採用している事業所は8.5%で、小規模企業に多く、30～99人では20%を占めているが、1,000人以上では2.9%にすぎない。

中卒高卒ともに採用している事業所について、遠隔地と通勤圏別に採用状況をみると、遠隔地に依存しているものが多く86%で、このうち、約半分の事業所が7割以上遠隔地採用を行なっている。とくに大企業では遠隔地に依存しており、1,000人以上の企業では「中・高卒ともに7割以上遠隔地」より採用している事業所が55%である（第5表）。

第4表 学卒者の最近2年間の地域別採用状況

(単位%)

企業規模	総数	通勤圏のみ採用	遠隔地・通勤圏併用				採用しない	不明
			小計	遠隔地3割未満	遠隔地3～7割未満	遠隔地7割以上		
総数	100.0	9.4	81.8	10.1	28.9	42.8	5.0	3.8
1000人以上	100.0	7.4	88.2	11.8	23.5	52.9	1.5	2.9
300～999人	100.0	8.8	89.5	8.8	36.8	43.9		1.8
100～299人	100.0	13.3	73.5	8.2	28.6	36.7	7.1	6.1
30～99人	100.0	7.4	81.1	11.6	28.4	41.1	8.4	3.2

第5表 最近2年間の中・高卒者地域別採用状況

(単位%)

企業規模	総数	中卒者のみ採用	高卒者のみ採用	中・高卒者を採用						採用しない
				小計	通勤圏のみ採用	遠隔地・通勤圏併用				不明
						小計	遠隔地3割未満	遠隔地3～7割未満	遠隔地7割以上	
総数	(100.0)	(8.5)	(25.8)	(60.7)						(5.0)
				100.0	7.8	86.0	12.4	31.6	42.0	6.2
1000人以上	(100.0)	(2.9)	(36.8)	(58.8)						(1.5)
				100.0	5.0	90.0	15.0	20.0	55.0	5.0
300～999人	(100.0)		(35.1)	(64.9)						
				100.0		97.3	8.1	45.9	43.3	2.7
100～299人	(100.0)	(6.1)	(23.5)	(63.3)						(7.1)
				100.0	14.5	75.9	11.3	32.3	32.3	9.6
30～99人	(100.0)	(20.0)	(14.7)	(56.9)						(8.4)
				100.0	7.4	87.0	14.8	29.6	42.6	5.6

4) 交替制の採用状況

調査対象事業所において交替制を実施しているものは36.8%で、事業所規模が大きいところほど交替制を多く実施している傾向がみられ、500人以上では58.7%に対し、30～99人では23.4%となっている。交替制の内容をみると2交替制21.1%、3交替制9.7%、その他6%である（第6表）。

第6表 交替制の採用の有無別事業所の構成

(単位%)

事業所規模	総 数	交 替 制 あ り				交替制なし
		小 計	2交替制	3交替制	その他	
総 数	100.0	36.8	21.1	9.7	6.0	63.2
500人以上	100.0	58.7	28.3	13.0	17.4	41.3
100～499人	100.0	44.1	26.8	11.0	6.3	55.9
30～99人	100.0	23.4	13.8	7.6	2.1	76.6

5) 年次有給休暇請求状況

最近1年間にける年次有給休暇の請求状況を階層別にみると、最も年休を多くとっているのは若年層で、定められた日数の8割以上年次有給休暇を請求したという事業所が多く58.2%で、つぎが5～8割19.5%となっており3割未満というところは8.8%である。ところで、組長・班長層についてみると、定められた日数の5～8割未満年休を請求している事業所が28.9%で最も多く、8割以上請求しているという事業所は27.7%で若年層の約半分である。寄宿舎に勤務するものの年休請求状況は前二者と異なつた傾向がみられ、定められた日数の8割以上年休を請求している事業所は38.2%で、組長・班長層（27.7%）より多いのであるが、3割未満の事業所が24.8%となっており、若年者（8.8%）よりも、組長・班長層（17.3%）よりも年休請求状況が低い層の占める割合が多いことになる（第7表）。

第7表 最近1年間の年次有給休暇請求状況

(単位%)

年次有給休暇 請求状況	若 年 層	組長・班長層	寄宿舎勤務者
総 数	100.0	100.0	100.0
3割未満	8.8	17.3	24.8
3～5割未満	5.0	16.0	7.9
5～8割未満	19.5	28.9	15.4
8割以上	58.2	27.7	38.7
不 明	8.5	10.1	13.2

(3) 寄宿舍の概況

1) 寄宿舍の規模

調査対象となつた事業所における寄宿舍に居住する人数によつてその規模をみると、15～49人の規模が最も多く39.9%で、つぎが1～14人の規模で3.4%である。企業規模別に寄宿舍規模をみると、当然のことであるが、企業規模が小さい場合は寄宿舍規模も小さく、30～99人の企業規模では寄宿舍規模は1～14人が最も多く、56.8%となつている。一方、企業規模1,000人以上の事業所に150人以上居住する寄宿舍が多く44.1%である（第8表）。

(注) 本調査における寄宿舍規模は寄宿舍に居住する人数によつて分類したものである。

2) 建物の概観

建物の材質をみると、鉄筋・鉄骨が多く64.5%、つぎが木造で51.9%となつている。寄宿舍規模別にみると、鉄筋・鉄骨は規模の大きい寄宿舍に多い傾向がみられ、150人以上では84.2%であるが、1～14人は46.3%である。木造は1～14人の寄宿舍に最も多いが（60.2%）、150人以上の寄宿舍であつても木造が57.9%を占めている（第9表）。

寄宿舍の階層をみると、2階建が最も多く（63.2%）、つぎが3～4階建（37.7%）となつている。3階以上の建物はすべて鉄筋・鉄骨である（第10表）。

第8表 企業規模および寄宿舍規模別事業所の構成

(単位%)

企業規模	総数	寄 宿 舎 規 模			
		150人以上	50～149人	15～49人	1～14人
総 数	100.0	12.0	14.1	59.9	3.4.0
1000人以上	100.0	44.1	29.4	17.7	8.8
300～999人	100.0	14.0	21.1	54.4	10.5
100～299人	100.0		13.3	43.9	42.8
30～99人	100.0			43.2	56.8

第9表 寄宿舍の材質別事業所の構成 (M.A.)

(単位%)

寄宿舍の規模	総 数	木 造	鉄筋・鉄骨	プレハブ	不 明
総 数	100.0	51.9	64.5	1.9	0.6
150人以上	100.0	57.9	84.2		
50～149人	100.0	42.2	80.0	4.4	
15～49人	100.0	46.5	68.5	1.6	0.8
1～14人	100.0	60.2	46.3	1.9	0.9

(注) M.A.とはmultiple Answer の略。一項目に2以上回答しているものがあるので各項目の合計は総数の100%と一致しない。以下の表についてM.A.の説明は略する。

第10表 寄宿舍の構造別事業所の構成 (M.A.)

(単位%)

階 層	総 数	木 造	鉄筋・鉄骨	プレハブ	不 明
総 数	(100.0) 100.0	51.9	64.5	1.9	0.6
5階建以上	(5.7) 100.0		100.0		
3～4階建	(37.7) 100.0		100.0		
2階建	(63.2) 100.0	66.7	31.3	2.0	
1階建	(11.0) 100.0	85.7	8.6	5.7	
不 明	(6.9) 100.0	36.4	54.5		9.1

寄宿舍の設置状況についてみると寄宿舍として単独に設置しているものが多く82.1%、事業所の建物などと併設しているところが20.1%である。寄宿舍規模別にみると、単独設置は大きいところに多く150人以上の寄宿舍では94.7%であるが、1～14人では70.4%となっている。げたばき式の寄宿舍の内容をみると、事業所に併設しているものが多く76.6%、社宅に併設しているものは23.4%である(第11表)。

第11表 寄宿舍の設置状況別事業所の構成 (M.A.)

(単位%)

寄宿舍規模	総 数	単 独 設 置				げたばき式				そ 他	不 明
		小 計	単 独	マンション 式・一戸建	不明	小 計	事業所 に併設	社宅に 併 設	不 明		
総 数	(100.0) 100.0	(82.1) 85.8		13.0	4.2	(20.1) 76.6		23.4	3.1	(3.5)	(0.3)
150人以上	(100.0) 100.0	(94.7) 91.7		8.3		(10.5) 75.0		25.0			
50～149人	(100.0) 100.0	(93.3) 90.5		19.0		(15.6) 71.4		42.9			
15～49人	(100.0) 100.0	(34.3) 91.6		9.3	2.8	(18.1) 82.6		13.1	4.3	(5.5)	
1～14人	(100.0) 100.0	(70.4) 72.4		17.1	10.5	(27.8) 73.3		26.7	3.3	(3.7)	(0.9)

3) 寄宿舍の設置位置

寄宿舍の設置位置をみると、徒歩のみで事業所に行ける距離に設置されているところが、大部分（84.9%）を占めており、電車・バス等乗物を利用する距離にあるところは15.1%にすぎない。寄宿舍から事業所への所要時間は、徒歩の場合は5分以内が圧倒的に多く83%であるが、電車・バス等の利用の場合は16～30分が多く47.9%、つきが15分以下の29.2%で比較的便利な地点に設置されているものが多いとみられるが、31分以上の時間を要するものがかかなりあり、22.9%である（第12表）。

第12表 寄宿舍から事業所への距離別事業所の構成

(単位%)		
所要時間	徒歩のみ	電車・バス等利用
総数	100.0	100.0
5分以下	83.0	} 29.2
6～15分	15.5	
16～20分	1.5	} 47.9
21～30分		
31～60分		20.8
61分以上		2.1

(注) 調査事業所総数に占める「徒歩のみ」の事業所の割合は84.9%、乗物利用は15.1%である。

4) 寄宿舍管理の概況

調査対象となつた事業所においては、学卒者を遠隔地より採用しているものが多いことは（81.8%）既に述べたとおりであり、したがつて寄宿舍を設置する理由は、「遠隔地採用者の福祉施設」というものが圧倒的に多く、95.9%で、つきに多いのが「交替制をしているから」で17.6%となつている。企業規模別に寄宿舍設置理由をみると、「交替制をしているから」は1,000人以上の企業規模に多く35.3%であるが、30～99人では13.7%である。「親元の要望」を寄宿舍設置の理由としてあげているところは、小規模企業に多く、1,000人以上では4.4%であるが、30～99人では10.5%となつている（第13表）。

第13表 寄宿舍設置の理由別事業所の構成 (M.A.)

(単位%)

企業規模	総数	1 遠隔地採用者の 福祉施設	2 交替制を している から	1,2以外 の事業経営 上の必要	親元の要望	その他	不明
総数	100.0	95.9	17.6	17.0	5.7	9.1	0.6
1000人以上	100.0	91.2	35.3	13.2	4.4	5.9	
300～999人	100.0	98.2	15.8	17.5	1.8	7.0	1.8
100～299人	100.0	98.0	10.2	14.3	4.1	12.2	
30～99人	100.0	95.8	13.7	22.1	10.5	9.5	1.1

— 寄宿舍規則等 —

寄宿舍規則を定めている事業所は94%で寄宿舍規模の大きいところ
に多く、150人以上の寄宿舍では97.4%であるが、1～14人では
88.9%である。

自治組織のある事業所は74.5%で、寄宿舍規模が大きいところは自
治組織のあるところが多く、150人以上では86.9%であるが、1～
14人の規模ではかなり少なくなり、53.7%となっている(第14表)。

第14表 寄宿舍規則、自治組織の有無別事業所の構成

寄宿舍規模	総数	寄 宿 舎 規 則		自 治 組 織		
		あ り	な し	あ り	な し	不 明
総数	100.0	94.0	6.0	74.5	24.9	0.6
150人以上	100.0	97.4	2.6	86.9	10.5	2.6
50～149人	100.0	97.8	2.2	95.6	4.4	
15～49人	100.0	96.1	3.9	81.1	18.9	
1～14人	100.0	88.9	11.1	53.7	45.4	0.9

— 門 限 —

寄宿舎の門限は、男子寮・女子寮で異なる事業所があるので、まず男女別に寄宿舎の設置状況をみると、男子寮・女子寮ともにあるところが多く47.1%、男子寮のみ43.1%、女子寮のみ9.4%である(第15表)。

寄宿舎の門限をきめている事業所は、調査事業所総数の89.9%で第16表に示すとおりである。このうち51.4%は男子寮・女子寮ともにある事業所で、38.5%が男子寮のみ、10.1%が女子寮のみとなつている(第16表)。

門限の時刻をみると、男子寮のみの事業所と、男女の寮がともにある事業所の男子寮の門限は22時以降が多い。また、男女別に門限をきめている場合は男子寮のみに門限なしとしている事業所が多く42.9%である。ところで女子寮のみの事業所と、男女の寮がともにある事業所の女子寮および男女同じ門限の事業所においては22時以前に門限をきめているところが多い(第17表)。

第15表 事業所の男女寮設置状況

(単位%)

区 分	構 成 比
総 数	100.0
男 子 寮 の み	43.1
女 子 寮 の み	9.4
男子寮・女子寮併置	47.5

第16表 男女寮の門限をきめている事業所の構成

(単位%)

区 分	構 成 比
総 数	(89.9) 100.0
男 子 寮 の み	38.5
女 子 寮 の み	10.1
併 置	小 計 51.4
	男女別の門限 14.7
	男女同じ門限 36.7

(注) 括弧内数字は、門限をきめている事業所の割合

第17表 門限のきまりの有無、門限時刻および男女寮別事業所の構成

(単位%)

門 限		男子寮のみ 設 置	女子寮のみ 設 置	男子寮・女子寮併置			
				小 計	男女別の門限のきまり		男女同じ門 限のきまり
					男	女	
総 数		(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)
				<100.0>	<27.8>		<72.2>
き め て い る	小 計	(80.3) 100.0	(96.7) 100.0	(97.4)	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(96.3) 100.0
	21時まで		41.4		4.8	26.2	7.6
	21時をこえ22時まで	40.9	51.7		4.8	50.0	58.1
	22時をこえ23時まで	51.8	6.9		42.9	23.8	33.3
	23時をこえ24時まで	6.4			4.8		1.0
	24時以降	0.9					
	(男子のみ門限なし)				42.9		
き め て い な い		(19.7)	(3.3)	(2.6)			(3.7)

—男子寮・女子寮の管理上の気づかい—

「管理上男子寮と女子寮では気づかいが違いますか」との問に対して、違うと答えたものが多く66.2%、男女同じというものは17.9%となっている。寄宿舍規模が大きいところに男子寮と女子寮とでは気づかいが違うというものが多く、150人以上では72.4%であるのに対し、1～14人では40.0%である（第18表）。

第18表 男女寮の管理上の気づかいの状況

(単位%)

寄宿舍規模	総 数	違 う	同 じ	不明・何ともいえない
総 数	100.0	66.2	17.9	15.9
150人以上	100.0	72.4	6.9	20.7
50～149人	100.0	88.2	8.8	3.0
15～49人	100.0	63.8	24.1	12.1
1～14人	100.0	40.0	26.7	33.3

5) 寄宿舍費等の徴収状況

—1人当たり寄宿舍費徴収額—

寄宿舍費を徴収している事業所は、61%で、寄宿舍規模の大きいところに多く、150人以上では78.9%、1～14人では50%である。その金額をみると301～500円が多く28.9%、つぎに多いのが501～1,000円の26.8%で、平均金額は794円となっている。寄宿舍費がいちじるしく低いのは1～14人の寄宿舍規模の層で348円となっており、その他の規模にくらべると約半額である（第19表）。

第19表 寄宿舍費の徴収の有無ならびに徴収月額平均徴収額

(単位%)

寄宿舍規模	総 数	徴 収 あ り							徴収なし
		小 計	300円 以下	301～ 500円	501～ 1000円	1,001円 以上	平均額	不 明	
総 数	(100.0)	(61.0)					円		(59.0)
	100.0	100.0	19.1	28.9	26.8	17.5	794	7.7	
150人以上	(100.0)	(78.9)							(21.1)
	100.0	100.0	26.7	30.0	30.0	13.3	760		
50～149人	(100.0)	(60.0)							(40.0)
	100.0	100.0	18.5	33.3	33.3	14.9	767		
15～49人	(100.0)	(65.4)							(34.6)
	100.0	100.0	18.1	24.1	25.3	21.7	852	10.8	
1～14人	(100.0)	(50.0)							(50.0)
	100.0	100.0	16.7	33.3	24.1	14.8	348	11.1	

— 1人当たり食費徴収額 —

寄宿舎で給食している事業所は95.3%である。給食の回数をみると3食給食しているところが多いのであるが(69.3%)、2食給食しているところもかなりある(25.4%)。寄宿舎規模が150人以上のところでは給食なしというものは皆無であるが、50～149人のところでは給食なしが1割近くある。

平均食費額をみると、2食給食の場合で4,706円、3食給食では5,558円となっており、寄宿舎規模別にみると大きな差はみられない(第20表)。

第20表 寄宿舎における給食の有無、回数ならびに平均食費額別事業所の構成

(単位%)

寄宿舎規模	総 数	給 食 あ り							給 食 な し
		小 計	1 食	2 食	3 食	平均食費額		不 明	
						2 食	3 食		
総 数	(100.0)	(95.3) 100.0	2.0	25.4	69.3	4,706 円	5,558 円	3.3	(4.7)
150人以上	(100.0)	(100.0) 100.0		39.5	60.5	5,076	5,671		
50～149人	(100.0)	(91.1) 100.0		21.9	73.2	4,407	5,405	4.9	(8.9)
15～49人	(100.0)	(96.9) 100.0	1.6	25.2	69.9	4,608	5,438	3.3	(3.1)
1～14人	(100.0)	(93.5) 100.0	4.0	21.8	70.3	4,693	5,726	3.9	(3.5)

— 寄宿舎費・食費以外の費用の1人当たり徴収額 —

寄宿舎費・食費以外の費用、たとえば、光熱費、町会費、施設使用費、衛生費などを徴収している事業所は少なく、8.2%で、平均金額は449円である(第21表)。

第21表 食費以外の費用の徴収額

(単位%)

徴 収 額		構 成 比
総 数		(100.0)
徴 収 あ り	小 計	(8.2) 100.0
	300円以下	42.3
	301～500円	23.1
	501～1,000円	30.8
	1,001円以上	3.8
	平均 額	449円
徴 収 な し		(91.8)

(4) 寄宿舍勤務者の概況

1) 勤務者の職種と人数

寄宿舍において管理者、寮母、賄・雑役等の勤務者がいるところは96.2%で、勤務者は1人もいないが、事業所の労務人事担当者が管理的な事務をおこなっているとみられる寄宿舍は3.8%ある。寄宿舍規模別にみると規模の小さい寄宿舍に勤務者がいないところが多くなっている。

寄宿舍勤務者を職務別にみると、管理者をおいているところは70.9%、寮母49%、賄・雑役等41.8%である。寄宿舍規模別にみると、管理者、寮母は規模の大きい寄宿舍のほうが多い傾向がみられる。

寄宿舍に勤務者がいる事業所における一事業所当たり平均人員は、175人となっており、寄宿舍規模別にみると1～14人の規模における平均人員は151人となっており、50～149人の規模の平均人員177人にくらべあまり大きな差はみられないが、150人以上の規模（平均人員263人）ではかなりの差がみられる。

職種別にみると、管理者、寮母、賄・雑役等がそれぞれいる事業所について各職種の平均人員は、管理者は105人、寮母は104人、賄・雑役等は120人である（第22表）。

第22表 寄宿舍勤務者の職種の分布（M.A.）と平均人員

寄宿舍規模	総 数	勤 務 者 の い る 事 業 所								勤務者のいない事業所
		一事業所 当たり 平均人員	小 計	構 成 比			(注) 職 種 別 平 均 人 員			
				管理者	寮 母	賄・ 雑役等	管理者	寮 母	賄・ 雑役等	
総 数	% (100.0)	人	% (96.2)	%	%	%	人	人	人	% (3.8)
		175	100.0	70.9	49.0	41.8	105	104	120	
150人以上	(100.0)	263	100.0	86.8	78.9	47.4	121	110	150	(2.2)
50～149人	(100.0)	177	100.0	77.3	54.5	34.1	103	100	127	
15～49人	(100.0)	167	100.0	69.1	47.2	41.5	102	103	116	
1～14人	(100.0)	151	100.0	64.4	37.6	43.6	100	103	111	(6.5)

(注) 管理者、寮母、賄・雑役等がいる事業所におけるそれぞれの職種の平均である。

寄宿舎に働く勤務者の人数の分布をみると、2～3人というところが多く44.4%、つぎに多いのは1人というもので34.7%となつてゐるが、4人以上勤務者をおいてゐるところは20.9%である。

寄宿舎規模別にみると、150人以上の寄宿舎では4人以上勤務者をおいてゐるところが大部分(84.2%)であるが、1～14人の寄宿舎では4人以上は2%にすぎない。(第23表)。

2) 勤務者の通勤、寄宿舎居住の状況

寄宿舎勤務者は通勤が多いかどうかをみると、第23表に示すとおり寄宿舎に居住する者が多く調査事業所数の63.4%であるが、通勤者もかなりおり45.1%となつてゐる。寄宿舎規模別にみると、寄宿舎に居住する勤務者は大きい寄宿舎に多く、通勤は寄宿舎規模の小さいところに多い傾向がみられる。これらの勤務者の通勤、寄宿舎居住の状況をみると、管理者は寄宿舎に居住する者が通勤より若干多く54.8%で、規模の大きい寄宿舎に多い傾向がみられる。寮母についてみると、寄宿舎に居住する者が多く78.7%であるが、通勤者もかなりおり25.3%である。賄・雑役者は、通勤、寄宿舎居住ともに60.2%である(第24表)。

第23表 寄宿舎勤務者の有無、人員分布

(単位%)

寄宿舎規模	総 数	勤 務 者 あ り				勤務者なし
		小 計	1 人	2～3人	4人以上	
総 数	(100.0)	(96.2) 100.0	34.7	44.4	20.9	(3.8)
150人以上	(100.0)	(100.0) 100.0	7.9	7.9	84.2	(2.2)
50～149人	(100.0)	(97.8) 100.0	27.2	56.4	36.4	
15～49人	(100.0)	(96.9) 100.0	34.1	54.5	11.4	(3.1)
1～14人	(100.0)	(93.5) 100.0	48.5	49.5	2.0	(6.5)

第24表 寄宿舎勤務者の職種別通勤、寄宿舎居住の状況(M.A.)

(単位%)

寄宿舎規模	総 数			管 理 者 等			寮 母 等			賄・雑役者等		
	総数	通 勤	寄宿舎居住	小計	通 勤	寄宿舎居住	小計	通 勤	寄宿舎居住	小計	通 勤	寄宿舎居住
総 数	100.0	45.1	63.4	100.0	49.8	54.8	100.0	25.3	78.7	100.0	60.2	60.2
150人以上	100.0	40.7	82.7	100.0	42.4	78.8	100.0	13.3	96.7	100.0	23.3	66.7
50～149人	100.0	41.1	65.8	100.0	41.2	61.8	100.0	20.8	79.2	100.0	73.3	53.3
15～49人	100.0	45.9	60.3	100.0	47.1	55.3	100.0	32.8	70.7	100.0	58.8	56.9
1～14人	100.0	48.3	55.8	100.0	61.5	38.5	100.0	26.3	76.3	100.0	42.7	63.6

3) 管理運営についての話し合いの機会

寄宿舍の管理運営について事業所の管理者側と寄宿舍勤務者、居住者と何らかの話し合いの機会をもっている事業所は多く、95.3%である。その内容をみると、第25表に示すとおり、自治会との話し合いが多く78.2%、つぎに多いのが居住者との話し合いで51.2%、職員会（寄宿舍担当職員を含む）25.7%となつてゐる。寄宿舍規模別にみると、話し合いの機会の多いのは寄宿舍規模の大きいところに多いといえる。全く何の話し合いの機会をもたない事業所が4.7%で、とくに、寄宿舍規模1～15人のところに全く話し合いの機会がないものが多くみられる（11.1%）。

寄宿舍の管理運営についての話し合いの回数についてみると、年に10回以上のものが多く45.6%、つぎに多いのが1～4回が21.7%であるが、随時話し合いの機会をもっているものもかなりあり、14.5%である（第26表）。

第25表 寄宿舍の管理運営について話し合いの状況(M.A.)

(単位%)

寄宿舍規模	総 数	あ					な し
		小 計	職員会	自治会との話し合い	居住者との話し合い	その他	
総 数	(100.0)	(95.3)					(4.7)
		100.0	25.7	78.2	51.2	8.6	
150人以上	(100.0)	(97.4)					(2.6)
		100.0	56.8	89.2	54.1	16.2	
50～149人	(100.0)	(97.8)					(2.2)
		100.0	29.5	97.7	40.9	6.8	
15～49人	(100.0)	(99.2)					(0.8)
		100.0	19.8	81.7	54.0	5.6	
1～14人	(100.0)	(88.9)					(11.1)
		100.0	19.8	60.4	51.0	10.4	

第26表 寄宿舍の管理運営について話し合いの年間開催回数

(単位%)

回数(年)	総 数	職員会	自治会との話し合い	居住者との話し合い	その他
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1～4 回	21.7	15.4	19.0	30.3	15.4
5～9 回	9.1	9.0	7.6	11.6	7.7
10回以上	45.6	64.1	46.0	38.7	26.9
随 時	14.5	11.5	9.3	18.1	50.0
不 明	9.1		18.1	1.3	

4) 勤務者の指導状況

寄宿舍勤務者の教育の機会についてみると「あり」というものは20.6%で、全く教育の機会がないものが大部分を占めている(78.7%)。寄宿舍の規模別にみると、規模の小さいものほど勤務者の教育の機会のないものが多く、150人以上では36.8%であるが、1～14人の規模では94.1%である。

勤務者の教育の機会のあるものについて、社内研修か、社外研修かに分けてみると、社外研修のほうが多く74.6%、社内研修は39.7%である(第27表)。

社内、社外研修等の年間開催回数をみると、社内、社外ともに1年に1～2回というものが多く、前者76%、後者91.5%となつている。1回当たりの日数では、社内では4～7日が多く40%であるが、社外では3日以内に集中しており68.1%となつている(第28表)。

第27表 寄宿舍勤務者の教育の機会(M.A.)

(単位%)

寄宿舍規模	総 数	あ り			な し	不 明
		小 計	社 内	社 外		
総 数	(100.0)	(20.6) 100.0	39.7	74.6	(78.7)	(0.7)
150人以上	(100.0)	(63.2) 100.0	54.2	75.0	(36.8)	(1.6)
50～149人	(100.0)	(29.5) 100.0	38.5	69.2	(70.5)	
15～49人	(100.0)	(16.3) 100.0	15.0	85.0	(82.1)	
1～14人	(100.0)	(5.9) 100.0	66.6	50.0	(94.1)	

第28表 寄宿舍勤務者の研修回数等(M.A.)

(単位%)

区 分		社 内	社 外
総 数		100.0	100.0
回数(年)	1～2回	76.0	91.5
	3～5回	24.0	12.8
	6回以上	32.0	10.6
	不 明		10.6
日数(回)	1～3日	32.0	68.1
	4～7日	40.0	8.5
	8日以上	4.0	2.1
	不 明	56.0	46.8

(注) 回数欄M.A.は対象者が異なることによる。

寄宿舎勤務者の教育内容は、一般的な職務研修が多く（42.9％）、寄宿舎の人的管理運営がこれに匹敵しており（41.3％）、これら二者より割合はかなり少なくなるが、食品衛生・栄養学（11.1％）、防犯・防火など寄宿舎の物的管理（9.5％）が比較的多い（第29表）。

寄宿舎勤務者が、昭和45年に制定された勤労青少年福祉法第13条の福祉推進者に選任されている事業所は9.1％で、事業所規模の大きいところに多く、500人以上では19.6％であるが、30～99人の事業所規模では3.4％である（第30表）。

(5) 居住青少年の寄宿舎生活適応のための施策

1) 同室者の選定方法

1部屋に2人以上青少年を収容しているところにこれらの同室者の選定の仕方について質問したところ、「寄宿舎管理責任者と自治会できめる」というものが最も多く31.8％、つぎに多いのが「主管課がきめる」で20.6％、「自治会にまかせる」（17.6％）「寄宿舎管理責任者にまかせる」（16.9％）の順になつている。寄宿舎規模別にみると、「寄宿舎管理責任者と自治会できめる」というものは規模の大きい寄宿舎に多い傾向がみられ（150人以上47.4％、1～14人24.1％）、「主管課がきめる」「自治会にまかせる」というのは規模の小さい寄宿舎に多い（前者150人以上18.4％、1～14人27.8％、後者150人以上7.9％、1～14人21.5％）（第31表）。

第29表 寄宿舎勤務者の研修内容(M.A.)

(単位%)

教育内容	構 成 比
総 数	100.0
防犯・防火など寄宿舎物的管理	9.5
寄宿舎の人的管理運営	41.3
食品衛生・栄養学	11.1
料理	3.2
カウンセリング等相談技術	4.8
レクリエーション研修	4.8
一般的職務研修	42.9
不 明	1.6

第30表 寄宿舍勤務者の勤労青少年福祉推進者選任状況

(単位%)

事業所規模	総 数	選任している	選任していない	不 明
総 数	100.0	9.1	90.6	0.3
500人以上	100.0	19.6	80.4	
100～499人	100.0	11.8	88.2	
30～99人	100.0	3.4	95.9	0.7

第31表 寄宿舍の同室者の選定方法

(単位%)

寄宿舍規模	総 数	主管課が きめる	寄宿舍管理責任者に まかせる	自治会に まかせる	寄宿舍管理責任者と自治会 とできめる	その他	不 明
総 数	100.0	20.6	16.9	17.6	31.8	12.7	0.4
150人以上	100.0	18.4	18.4	7.9	47.4	5.3	2.6
50～149人	100.0	14.3	19.0	14.3	42.9	9.5	
15～49人	100.0	18.5	18.5	19.4	27.8	15.8	
1～14人	100.0	27.8	12.7	21.5	24.1	13.9	

2) 指導員の活動状況

寄宿舍において居住青少年が集団生活に適応するために先輩社員による指導員が活動しているかどうかを見ると、活動していると答えているものは29.9%である。寄宿舍規模の大きいところほど指導員が活動しているところが多く、150人以上では63.2%が指導員が活動しているが、1～14人では14.8%である。これら指導員の活動の場についてみると、寄宿舍だけという事業所が多く64.2%、事業所全体の指導員として活動しているが寄宿舍においても活動しているという事業所もかなりあり5.8%である。指導員の活動の場が寄宿舍だけという事業所について、指導員の所属についてみると、自治会が多く68.8%、事業所が19.7%、事業所・自治会共有のものが6.6%となつている。

寄宿舍規模別にみると、自治会の指導員が活動している事業所は大きな規模の寄宿舍に多く、事業所の指導員は「寄宿舍だけ」「事業所全体」を問わず規模の小さい寄宿舍に多い傾向がみられる(第32表)。

これら指導員の活動の効果について質問したところ、効果があるというものが多く78.9%であるが、「効果はあまりない」というものもかなりみられ14.7%で、規模の小さい寄宿舍に比較的多いことが注目される(第33表)。

第3.2表 寄宿舎における指導員の活動状況

(単位%)

寄宿舎規模	総 数	指導員がいる							指導員 はいない	不 明
		小 計	寄 宿 舎 だ け					事業所 全 体		
			小 計	事業所	自治会	事業所・自治会	不 明			
総 数	(100.0)	(29.9) 100.0	64.2 100.0	19.7	68.8	6.6	4.9	35.8	(69.8)	(0.5)
150人以上	(100.0)	(63.2) 100.0	66.7 100.0	12.5	68.7	6.3	12.5	33.3	(36.8)	
50～149人	(100.0)	(37.8) 100.0	76.5 100.0	15.4	84.6			23.5	(62.2)	
15～49人	(100.0)	(29.9) 100.0	60.5 100.0	21.8	69.6	4.3	4.3	39.5	(70.1)	
1～14人	(100.0)	(14.8) 100.0	56.3 100.0	33.3	44.5	22.2		43.7	(84.3)	(0.9)

第3.3表 寄宿舎における指導員の活動の効果

(単位%)

寄宿舎規模	総 数	効果がある	効果はあまりない	そ の 他	不 明
総 数	100.0	78.9	14.7	5.3	1.1
150人以上	100.0	87.5	8.3	4.2	
50～149人	100.0	76.5	17.6	5.9	
15～49人	100.0	73.7	15.8	7.9	2.6
1～14人	100.0	81.3	18.7		

3) 寄宿舎内でのカウンセリング

寄宿舎で居住青少年のためにカウンセリングを行なっているものは34.9%で、カウンセリングを行なっていないもの(65.1%)のほりが多い。カウンセリングを行なっているものは、寄宿舎だけか、事業所全体を行なっているものかどうかについてみると、寄宿舎だけというものは43.2%で、事業所全体を行なっているものが寄宿舎のカウンセリングも担当しているものが多く56.8%である。寄宿舎だけのカウンセリングを行なっているものについてその所属をみると、事業所に所属するものが多く66.7%、自治会に所属するものは18.7%となつている。

寄宿舍規模別にみると、カウンセリングを行なっているところは、規模の大きい寄宿舍に多く150人以上では57.9%、1～14人の規模は22.2%となっており、しかも事業所全体を担当しているものが寄宿舍をも担当しているところは規模の小さい事業所に多い（150人以上36.4%、1～14人75%）（第34表）。

第34表 寄宿舍におけるカウンセリング実施状況

(単位%)

区 分		総 数	し て い る							し て いない
			小 計	寄 宿 舎 だ け					事業所 全 体	
				小 計	事業所	自治会	事業所 自治会	不 明		
総 数		(100.0)	(54.9) 100.0	43.2 100.0	66.7	18.7	8.3	6.3	56.8	(65.1)
事業所規模	500人以上	(100.0)	(41.3) 100.0	68.4 100.0	92.3	7.7			31.6	(58.7)
	100～499人	(100.0)	(40.9) 100.0	46.2 100.0	58.4	20.8	12.5	8.3	53.8	(59.1)
	30～99人	(100.0)	(27.6) 100.0	27.5 100.0	54.5	27.3	9.1	9.1	72.5	(72.4)
寄宿舍規模	150人以上	(100.0)	(57.9) 100.0	63.6 100.0	92.9	7.1			36.4	(42.1)
	50～149人	(100.0)	(40.0) 100.0	55.6 100.0	60.0	30.0	10.0		44.4	(60.0)
	15～49人	(100.0)	(37.0) 100.0	38.3 100.0	55.5	11.1	16.7	16.7	61.7	(63.0)
	1～14人	(100.0)	(22.2) 100.0	25.0 100.0	50.0	50.0			75.0	(77.8)

カウンセリングを行なっている者について、その立場をみると、寄宿舍勤務者が多く60.4%、労務担当者がこれについており56.8%となっており、自治会役員や、カウンセラーとよばれている者がカウンセリングを行なっている事業所は非常に少なく、それぞれ1.8%にすぎない。寄宿舍勤務者でカウンセリングを行なっているものは、舎監・寮長などの管理者が多く69.4%、寮母などが行なっているものが34.8%である。

寄宿舎規模別にみると、寄宿舎勤務者がカウンセリングを行なっているところは、規模の大きい寄宿舎に多く（150人以上90.9％、1～14人29.2％）労務担当者が担当しているところは規模の小さい寄宿舎に多い（150人以上50.5％、1～14人66.7％）（第35表）。

第35表 寄宿舎における相談の担当者（M.A.）

（単位％）

寄宿舎規模	総数	寄宿舎勤務者				労務担当職員等	自治会役員	その他カウンセラー	不明
		小計	管理者等	寮母等	その他				
総数	(100.0)	(60.4)				(56.8)	(1.8)	(1.8)	(4.5)
		100.0	69.6	34.8	5.8				
150人以上	(100.0)	(90.9)				(50.0)			(4.5)
		100.0	80.0	60.0		(55.6)			(5.6)
50～149人	(100.0)	(61.1)							
		100.0	54.5	45.5		(55.3)	(2.1)	(2.1)	(6.4)
15～49人	(100.0)	(61.7)							
		100.0	69.0	20.7	13.8	(66.7)	(4.2)	(4.2)	
1～14人	(100.0)	(29.2)							
		100.0	85.7	14.3					

4) 寄宿舎内の福祉施設

寄宿舎内の福祉施設は第35表に示すとおりで、過半数の寄宿舎にある福祉施設は、調理設備（71.9％）、娯楽室（71.6％）、集会室（51.2％）となっており、娯楽室（46.2％）、面会室（30.8％）図書室（25.4％）がこれについている。これらの施設が全くない寄宿舎が5.7％あり、とくに、規模の小さい寄宿舎に多く1～14人の規模では福祉施設が一つもないものが11.1％である（第36表）。

これら福祉施設のなかで、最も利用されているのが娯楽室（51.5％）で、談話室（15.7％）集金室（13.7％）がこれについている。調理設備をもつものは多い（71.9％）のであるが、利用度は以外に低いようにみられる。（第37表）。

第36表 寄宿舍内の福祉施設の内容 (M. A.)

(単位%)

寄宿舍規模	総 数	あ り											一つ もな し	不 明
		小 計	談 話 室	娯 楽 室	面 会 室	図 書 室	自 習 室	相 談 室	調 理 設 備	集 会 室	そ の 他	不 明		
総 数	(100.0)	(94.0) 100.0	46.2	71.6	30.8	25.4	16.1	14.0	71.9	51.2	10.4	45.2	(5.7)	(0.5)
150人以上	(100.0)	(97.4) 100.0	67.6	91.9	64.9	54.1	40.5	43.2	86.5	83.8	18.9	48.6	(2.6)	
50~149人	(100.0)	(100.0) 100.0	60.0	88.9	48.9	40.0	37.8	24.4	75.6	75.6	13.3	44.4		
15~49人	(100.0)	(96.1) 100.0	41.0	70.5	27.0	19.7	11.5	9.8	70.5	43.4	9.0	44.3	(3.9)	
1~14人	(100.0)	(88.0) 100.0	37.9	56.8	13.7	14.7	2.1	3.2	66.3	36.8	7.4	45.3	(11.1)	(0.9)

第37表 とくによく利用されている福祉施設 (M. A.)

(単位%)

福 祉 施 設	構 成 比
総 数	100.0
談 話 室	15.7
娯 楽 室	51.5
面 会 室	2.0
図 書 室	4.0
自 習 室	2.7
相 談 室	0.3
調 理 設 備	8.4
集 会 室	13.7
そ の 他	5.0
な し	10.7
無 回 答	9.4

(6) 寄宿舍内でのレクリエーション

1) レクリエーション・リーダー

寄宿舍内にレクリエーション・リーダーが活動しているかどうか質問したところ、活動していると答えている事業所が約半分で、寄宿舍規模の大きいところほど活動しているものが多く、150人以上では86.8%であるが、1~14人では31.5%となつている。

レクリエーション・リーダーの活動の場が寄宿舍内だけか、寄宿舍を含む事業所全体かどうかについてみると、寄宿舍だけが多く63.1%、事業所全体というのは36.9%である。レクリエーション・リーダーの所属をみると、自治会が多く89.1%となつており、寄宿舍規模別にみると、大きな規模の寄宿舍に自治会のレクリエーション・リーダーが活動しているものが多い傾向がみられ、150人以上では100%活動しているが、1~14人では75%となつている。

寄宿舍内でレクリエーション・リーダーが活動していないものは49.7%で、寄宿舍規模の小さい事業所に多く、150人以上では13.2%にすぎないが、1～14人では68.5%がレクリエーション・リーダーは活動していない(第38表)。

第38表 寄宿舍でのレクリエーション・リーダーの活動状況(M.A.)

(単位 %)

区 分		総 数	い る					事業 所全 体	い ない
			小計	寄 宿 舎 だ け					
				小計	事業 所	自治 会	不明		
総 数		(100.0)	(50.5) 100.0	63.1 100.0	13.9	89.1	2.0	36.9	(49.7)
事業 所規 模	500人以上	(100.0)	(78.5) 100.0	69.4 100.0	8.0	100.0		30.6	(21.7)
	100～ 499人	(100.0)	(59.8) 100.0	71.1 100.0	11.1	88.9	1.9	28.9	(40.2)
	50～99 人	(100.0)	(53.1) 100.0	45.8 100.0	27.3	77.3	4.5	54.2	(66.9)
寄 宿 舎 規 模	150人以上	(100.0)	(86.8) 100.0	57.6 100.0	10.5	100.0		42.4	(13.2)
	50～149人	(100.0)	(80.0) 100.0	72.2 100.0	15.4	88.5		27.8	(20.0)
	15～49人	(100.0)	(44.9) 100.0	70.2 100.0	7.5	90.0	5.0	29.8	(55.1)
	1～14 人	(100.0)	(31.5) 100.0	47.1 100.0	31.5	75.0		52.9	(68.5)

2) クラブ・サークル活動

寄宿舍のクラブ・サークル活動についてみると、文化・体育関係の何らかの活動があるものは36.5%で、何もクラブ・サークル活動を行なっていないもののほうが多く63.5%である。寄宿舍規模別にみると、クラブ・サークル活動がないものは規模の小さい寄宿舍に多く、150人以上では39.5%に対し、1～14人以上では78.7%がクラブ・サークル活動を行なっていない。

クラブ・サークル活動についておもなものを3つ程度あげてもらったところ、茶・華道(60.3%)が最も多く、和洋裁・編物(37.9%)、野球(20.7%)、卓球(15.5%)の順になつている。寄宿舍規模別にみると、野球は規模による格差があまりみられないが、和洋裁・編物、バレーボール、ボウリング、テニス、バドミントン、コーラスは寄宿舍規模による差がかなりみられる(第39表)。

第39表 寄宿舍内のクラブ活動の有無別事業所の構成 (M.A.)

(単位%)

寄宿舍 規 模	総 数	あ り																そ の 他 明	不 明	な し
		小 計	文 化 関 係						体 育 関 係											
			読 書	コ ー ス	和 洋 裁 ・ 編 物	茶 ・ 華 道	囲 碁 ・ 将 棋	そ の 他	野 球	卓 球	テ ニ ス	バ ド ミ ン ト ン	バ レ ー ボ ー ル	ボ ウ リ ン グ	ハ イ キ ン ・ 登 山	そ の 他				
総 数	(100.0) 100.0	(66.5) 100.0	0.9	1.7	37.9	60.3	0.9	19.0	20.7	15.5	2.6	1.7	12.1	12.1	4.3	16.4	9.5	1.7	(63.9)	
150人 以上	(100.0) 100.0	(60.5) 100.0		8.7	39.1	60.9		43.5	21.7	17.4	8.7	8.7	26.1	4.3	4.3	34.8	4.3	4.3	(69.9)	
50～ 149人	(100.0) 100.0	(67.8) 100.0			57.7	76.9		19.2	19.2	3.8	3.8			3.8		15.4	3.8		(42.2)	
15～ 49人	(100.0) 100.0	(64.6) 100.0	2.3		36.4	50.0	2.3	15.9	20.5	22.7			15.9	20.5	4.5	15.9	6.3		(65.4)	
1～14人	(100.0) 100.0	(21.3) 100.0			17.4	60.9			21.7	13.0			4.3	13.0	8.7		26.1	4.3	(78.7)	

3) クラブ・サークル活動への事業所援助費

寄宿舍内でクラブ・サークル活動を行なっている事業所について、事業所からの経費の援助の状況についてみると、何らかの金銭的援助を行なっているものが多く87.9%である。1人当たり事業所からの援助金額をみると、7,001円以上のものが多く33.3%で、つぎに多いのが1,001～3,000円で19.6%、1,000円以下11.8%となつてゐる(第40表)。

第40表 寄宿舍内のクラブ・サークル活動に対する事業所の1人当たり援助額別事業所の構成

(単位%)

総数	金 銭 的 援 助 あ り							金銭的 援 助 な し
	1 人 当 た り 経 費 額							
	小計	1,000円 以下	1,001 ～ 3,000円 以下	3,001 ～ 5,000円 以下	5,001 ～ 7,000円 以下	7,001円 以上	不 明	
(1000)	(879) 100.0	11.8	19.6	10.8	6.9	53.5	17.6	(12.1)

4) 居住青少年が参加した行事

過去1年間に職場、寄宿舍などで、事業所もしくは自治会などが主催した行事に、寄宿舍居住青少年はどの程度参加しているであろうか。第40表に示すとおり、職場、寄宿舍をとわず居住青少年が参加した何らかの行事を行なっているものは92.5%で、このうち寄宿舍居住青少年が多く参加したのは、職場レクリエーションとして事業所が主催した行事である。

事業所規模別にみると、職場レクリエーションとして事業所が主催した行事への寄宿舍居住青少年が参加したものは、規模の小さい事業所に多い(500人以上148.9%)30~99人181.8%)。寄宿舍内のクラブ・サークル活動については、寄宿舍規模の小さいもののほどクラブ・サークル活動がないものが多いと述べたが(2)クラブ・サークル活動、第39表参照)、事業所規模が小さく寄宿舍規模も小さいところでは、寄宿舍内だけのクラブ・サークル活動の不備を、職場レクリエーションとして全従業員対象の行事に寄宿舍居住青少年を参加させることでおきなっているとみられるのである。一方、寄宿舍で自治会主催行事への居住青少年の参加した行事は、事業所規模の大きいもののほど多く、500人以上では186.7%であるが、30~99人では35.6%である。また寄宿舍で事業所・自治会の主催であつても、これと同様の傾向がみられ、事業所規模の大きいもののほうが参加した行事が多いといえる(第41表)。

第41表 寄宿舍居住青少年の参加したおもな行事の主催別事業所の構成 (M.A.)
(単位 %))

事業所 規模	総数	行事の主催						行事 なし	不明
		小計	職場で 事業所 主催	寄宿舍 で事業 所主催	自治会	事業所 自治会 共催	その他		
総数	(100.0)	(92.5) 100.0	170.7	24.1	88.1	56.8	38.8	(6.6)	(0.9)
500人以上	(100.0)	(97.8) 100.0	148.9	28.9	186.7	64.4	8.9		(2.2)
100~ 499人	(100.0)	(92.1) 100.0	166.7	31.6	109.4	68.4	35.0	(7.1)	(0.8)
50~ 99人	(100.0)	(91.0) 100.0	181.8	15.9	35.6	43.9	52.3	(8.3)	(0.7)

－ 居住青少年が参加した行事の内容－

過去1年間に於いて寄宿舍に居住する青少年が参加したおもな行事を5～6あげてもらったところ、慰安旅行キャンプ等（33.7％）、スポーツ大会等（33.1％）が多く、ダンスパーティー（8.4％）花見などの自然観賞会（2.8％）、文化祭・祭まつりなど（2.6％）の順になつてゐる。主催者別にみると、慰安旅行・キャンプなどは職場が主催のものに参加したものがとくに多くなつており、ダンスパーティーは自治会、職場が主催した場合に参加したものがかなり多くなつてゐる（第42表）。

第42表 主催および種類別居住青少年が参加した行事の種類

（単位 ％）

主 催	総 数	スポーツ大会等	文化祭等	慰安旅行・キャンプ等	自然観賞会（花見等）	ダンスパーティー等	その他
総 数	100.0	33.1	2.6	33.7	2.8	8.4	19.4
職 場	100.0	33.9	1.0	42.4	3.0	15.6	4.1
寄 宿 舎	100.0	33.6	4.2	25.6	2.1	1.7	32.8
自 治 会	100.0	24.7	4.6	27.8	2.7	23.2	1.7
そ の 他	100.0	47.5	1.8	25.4	3.5	14.0	7.9

これらの行事への居住青少年の参加状況をみると、それぞれの行事に70％以上が参加しており、とくに、ダンスパーティー・盆おどり大会は参加したものが多く（81.9％）、つきが文化祭（79.3％）、花見などの自然観賞会（74.2％）となつてゐる（第43表）。

第43表 居住青少年の行事への参加状況別事業所の構成

（単位 ％）

参 加 状 況	総 数	スポーツ大会等	文化祭等	慰安旅行・キャンプ等	自然観賞会（花見等）	ダンスパーティー・盆おどり	その他
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
5 割 まで	6.3	6.2	6.9	4.8	3.2	3.2	10.6
5割をこえ、7割まで	21.6	27.2	13.8	23.4	22.6	14.9	13.0
7割をこえるもの	71.0	65.2	79.3	70.7	74.2	81.9	75.0
不 明	1.1	1.4	—	1.1	—	—	1.4

とくに寄宿舎居住青少年の参加したものが多い慰安旅行・キャンプ等スポーツ大会について事業所規模別にみると、両者ともに参加したものが7割をこえたものは規模の小さい事業所に多い傾向がみられる。この傾向を主催者別に参加したものが7割をこえたものについてみると、スポーツ大会では職場、寄宿舎、自治会ともにあまり差がみられない。また、慰安旅行では職場、寄宿舎については大きな差はみられないが、自治会主催については比較的参加者が少ないといえる（第44表）。

第44表 居住青少年の行事への参加状況別事業所の構成

（単位 ％）

区 分		ス ポ ー ツ 大 会 等				慰 安 旅 行 ・ キ ャ ン プ 等					
		小 計	5割ま で	5割を こえ7 割まで	7割を こえる もの	不 明	小 計	5割ま で	5割を こえ7 割まで	7割を こえる もの	不 明
総 数		100.0	6.2	27.2	65.2	1.4	100.0	4.8	23.4	70.7	1.1
事業所規模	500人以上	100.0	15.9	39.7	41.3	3.1	100.0	22.5	44.9	30.6	2.0
	100～499人	100.0	4.6	52.7	60.7	2.0	100.0	2.5	27.8	68.4	1.3
	50～99人	100.0	3.9	16.8	79.3		100.0	1.8	13.1	84.5	0.6
主 催	職 場	100.0	4.7	28.2	65.3	1.8	100.0	2.4	19.7	77.0	0.9
	寄 宿 舎	100.0	7.5	25.0	67.5		100.0	8.2	14.7	73.8	3.3
	自 治 会	100.0	7.8	21.9	68.8	1.5	100.0	9.7	41.7	48.6	
	そ の 他	100.0	7.4	33.3	57.4	1.9	100.0	3.5	24.1	72.4	

5）男女交流の機会

寄宿舎内で男女交流の機会を設けているのは28.6％で、設けていないもの（71.1％）のほうが多い。男女交流の機会を設けているものは大きな規模の寄宿舎に多く、150人以上では68.4％であるが、1～14人では10.2％である。

どのようなところと男女交流の機会を行なっているかをみると、同じ事業所内というものが最も多く78％で、他の事業所がこれについており（30.8％）、地域社会と交流の機会を設けているところもかなりみられる（第45表）。

第45表 寄宿舎での男女交流の機会の有無ならびに交流先別事業所の構成(M.A.)

(単位 %)

寄宿舎 規 模	総 数	設 け て い る						設けて いない	不 明
		小 計	事業所 内	他の事 業所	地域社 会	その他	不 明		
総 数	(100.0)	(28.6) 100.0	78.0	50.8	13.2	5.5	1.1	71.1	(0.3)
150人以上	(100.0)	(68.4) 100.0	92.3	50.0	15.4	3.8		29.0	(2.6)
50~149人	(100.0)	(53.3) 100.0	79.2	20.8	4.2		4.2	46.7	
15~49人	(100.0)	(23.6) 100.0	70.0	23.3	16.7	10.0		76.4	
1~14人	(100.0)	(10.2) 100.0	63.6	27.3	18.2	9.1		89.8	

男女の交流の機会を設けた際、どのようなことを行なっているのであろうか。第46表に示すとおり、スポーツ交歓等が最も多く(57.1%)つぎがダンスパーティ(39.6%)、談話室の開放(24.2%)で、これらが男女交流のおもなものとみられる(第46表)。

第46表 寄宿舎での男女交流の内容別事業所の構成(M.A.)

(単位 %)

寄宿舎 規 模	総数	談話室 等の開 放	ダンス パーティ の開催	スポー ツ交歓 等	その他	不 明
総 数	100.0	24.2	39.6	57.1	38.5	1.1
150人以上	100.0	26.9	57.7	73.1	34.6	
50~149人	100.0	20.8	41.7	70.8	25.0	4.2
15~49人	100.0	26.7	23.3	40.0	50.0	
1~14人	100.0	18.2	36.4	36.4	45.5	

(7) その他

1) 居住青少年の苦情

過去1年間における寄宿舎居住青少年の苦情について、事業所の労務担当者が把握しているところでは、「食事がわるい」が最も多く56.7%で、つぎが「設備がわるい」(41.8%)、「門限が早い」(22.6%)

となっておりこの3つが上位三位を占めている。「居室がせまい」「自家用車をおけない」という苦情もかなりあり(ともに15.9%)、「管理者側の世話をいやがる」ものが1割程度ある。

寄宿舍居住青少年の苦情がないという事業所は34.6%で、寄宿舍規模の小さい事業所ほど苦情がないというものが多い。すなわち、150人以上の寄宿舍では「苦情がない」というものは12.2%であるが、寄宿舍規模が小さくなるにしたがつて「苦情がない」というものの占める率は多くなり、1～14人では48.1%が「苦情がない」といつている(第47表)。

第47表 寄宿舍居住青少年の苦情の有無別事業所の構成(M.A.)

(単位 %)

寄 宿 舎 規 模	総 数	あ り								な し
		小計	食事 がわ るい	居室 がせ まい	設備 がわ るい	門限 が早 い	自家用 車をお けない	管理者 側の世 話をい やがる	その他	
総 数	(100.0)	(65.4) 100.0	56.7	15.9	41.8	22.6	15.9	9.6	20.7	(54.6)
150人以上	(100.0)	(86.8) 100.0	75.8	21.2	42.4	30.5	27.5	15.2	6.1	(13.2)
50～ 149人	(100.0)	(82.2) 100.0	59.5	29.7	40.5	27.0	21.6	5.4	21.6	(17.8)
15～49人	(100.0)	(64.6) 100.0	47.6	12.2	47.6	22.0	13.4	12.2	19.5	(35.4)
1～14人	(100.0)	(51.9) 100.0	57.1	8.9	53.9	16.1	8.9	5.4	30.4	(48.1)

2) 居住青少年と勤務者とのもめごと

過去1年間における寄宿舍での居住青少年と勤務者とのもめごとの有無についてみると、ありというものは24.8%で、ないもののほうが多い(75.2%)。もめごとの内容のなかで多いものを3つあげると、人間関係(44.7%)、集団生活のエチケット(42.1%)、一般的な寄宿舍の規律(35.5%)で、少し割合が少くなるが食事(26.3%)、門限(19.7%)、共有施設の利用(11.8%)をあげているものがある。

寄宿舍規模別にみると、集団生活のエチケット、一般的な寄宿舍の規律、人間関係、共有施設の利用についてもめごとは規模の大きい寄宿舍に多い傾向がみられる。

居住青少年と勤務者のもめとがない事業所は寄宿舍規模別にみると、規模の小さいところが多く、150人以上では52.6％に対し、1～14人では81.2％の事業所でもめことはないといっている（第48表）。

第48表 寄宿舍居住青少年と寄宿舍勤務者とのもめとの有無別事業所の構成（M.A.）

（単位 ％）

寄 宿 舎 規 模	総 数	あ り								な し
		小 計	食 事	共有 施設の 利用	集団 生活 のエ キ ャ ー ツ ト	門 限	一 般 的 な 寄 宿 舎 の 規 律	人 間 関 係	そ の 他	
総 数	(100.0)	(24.8) 100.0	26.3	11.8	42.1	19.7	35.5	44.7	3.9	(75.2)
150人以上	(100.0)	(47.4) 100.0	33.3	38.9	55.6	16.7	50.0	50.0		(52.6)
50～149人	(100.0)	(36.4) 100.0	12.5	6.5	50.0	18.8	43.8	50.0	6.5	(63.6)
15～49人	(100.0)	(18.7) 100.0	21.7	4.3	59.1	34.8	50.4	43.5		(81.5)
1～14人	(100.0)	(18.8) 100.0	36.8		26.3	5.3	21.1	36.8	10.5	(81.2)

3) 寄宿舍内での事故

過去1年間における寄宿舍内での事故などの状況をみると、何らかの事故があつたという事業所は51.6％である。事故の内容の主なもの3つをあげると、盗難（48.2％）、無断外泊（45.7％）、急病人（29.3％）で、異性問題（23.2％）、居住者保有の車の事故（18.9％）がこれについており、寄宿舍生活の事故のなかに現代の世相の一端がみられる。また火災・煙や（3.7％）、ノイローゼなど（3％）が若干みられ、寄宿舍の建物ならびに居住青少年の管理のむづかしさがうかがわれる。

寄宿舍規模別にみると、盗難、無断外泊、急病人など大まかにいつて規模の大きい寄宿舍のほうが事故が発生する割合が多いといえる（第49表）。

第49表 寄宿舍内での事故の有無別事業所の構成 (M.A.)

(単位 %)

寄 宿 舎 規 模	総 数	あ り														な し
		小 計	急 病 人			火 災	盗	居 住 者 保 有 の 車 の 事 故	異 性 問 題	ノ イ ロ ー ビ な ど	ソ ナ 一 睡 眼 薬 遊 び な ど	無 断 外 泊	そ の 他 居 住 者 の 非 行	そ の 他		
			小 計	盲 腸 炎	そ の 他											
総 数	(1000) 1000	(516) 1000	29.5	128	165	3.7	48.2	18.9	23.2	3.0	1.8	45.7	9.1	8.5	(48.4)	
150人以上	(1000) 1000	(1000) 1000	52.6	23.7	28.9	7.9	63.2	39.5	26.5	7.9		60.5	18.4		(22.5)	
50～149人	(1000) 1000	(77.8) 1000	28.6	14.3	14.3	2.9	57.1	11.4	22.9	2.9	5.7	48.6	11.4	2.9	(52.8)	
15～49人	(1000) 1000	(47.2) 1000	11.6	8.5	13.3	1.7	36.7	13.3	26.7	1.7	1.7	43.3	5.0	5.0	(71.5)	
1～14人	(1000) 1000	(28.7) 1000	16.2	6.5	9.7	3.2	41.9	12.9	12.9			29.0	3.2	52.3		

2 青少年の生活と意識

(1) 寄宿舎における青少年の概況

1) 調査対象者の構成

調査対象となつた寄宿舎に居住する青少年の構成は第50表のとおりで、寄宿舎規模においては「15～49人」が最も多く、性別では男子が少し多くなつてゐる。年令別についてみると、20～24才がいくぶん多く、学歴は高卒が最も多く、中卒がこれについてゐる。

第50表 調査対象者の性、年令、学歴構成

区 分		有効回収数	構 成 比
総 数		2,951人	100.0%
寄 宿 舎 規 模	150人以上	813	27.5
	50～149人	638	21.6
	15～49人	979	33.2
	1～14人	521	17.7
性	男	1,649	55.9
	女	1,302	44.1
年 令	15～19才	1,297	44.0
	20～24才	1,654	56.0
学 歴	中 学 卒	1,339	45.4
	高 校 卒	1,422	48.2
	短大卒以上	190	6.4

2) 居住青少年の概況

寄宿舎に居住する青少年の性別は、総数では男子が55.9%で女子(44.1%)より多くなつてゐるが、寄宿舎規模別にみると、規模が大きいところに女子が多い傾向がみられ、150人以上では女子の占める割合が61.5%であるが、1～14人では28.8%である。

居住青少年の年令は、15～19才が44%、20～24才が56%で、寄宿舎規模別にみると、とくに150人以上の規模の寄宿舎では15～19才が多くなつてゐる。

居住青少年の学歴は高卒が多く、48.2%、中卒がこれについており45.4%で、短大卒以上は6.4%である。寄宿舎規模別にみると、中卒は規模の小さい寄宿舎に多く、高卒は規模の大きい寄宿舎に多い傾向がみられる(第51表)。

第51表 寄宿舍居住青少年の年令、性、学歴構成

(単位 %)

寄宿舍規模	総数	性		年 令		学 歴		
		男	女	15～19才	20～24才	中学校	高校卒	短大卒以上
総 数	100.0	55.9	44.1	44.0	56.0	45.4	48.2	6.4
150人以上	100.0	38.5	61.5	48.7	51.3	37.9	55.8	6.3
50～149人	100.0	47.8	52.2	40.3	59.7	39.0	55.2	5.8
15～49人	100.0	67.4	32.6	42.5	57.5	48.0	44.3	7.7
1～14人	100.0	71.2	28.8	43.8	56.2	59.9	34.9	5.2

寄宿舍居住青少年の出身地をみると、通勤できるところが出身地であるというものは14.4%いるが、大部分(85.6%)は出身地が事業所より遠くはなれ通勤不可能なところである。性別の出身地は、女子は男子よりいくぶん遠くはなれた地域よりきているものが多く、年令別では20～24才の層が、15～19才の層のものより遠距離の出身者が少し多くなっている(第52表)。

第52表 寄宿舍居住青少年の出身地

(単位 %)

出 身 地	総 数	性		年 令	
		男	女	15～19才	20～24才
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
通勤可能範囲	14.4	15.1	13.4	16.9	12.4
遠 距 離	85.6	84.9	86.6	83.1	87.6

居住青少年の勤続年数は3年以上が多く、33.5%で、つぎが1年未満の25.5%、1～2年未満が23%、2～3年17.1%の順になっている。年令別にみると、15～19才では1年未満の占める割合が比較的高く、43.9%であるが、20～24才では3年以上が相対的に多く47.7%である。性別にみると男子に3年以上勤続者が多い(男子34.8%、女子31.9%)(第53表)。

第53表 寄宿舍居住青少年の勤続年数構成

(単位 %)

区 分	総 数	1年未満	1～2年未満	2～3年未満	3年以上	不 明
総 数	100.0	25.5	23.0	17.1	33.5	0.9
年 令	15～19才	43.9	24.7	14.0	15.9	1.5
	20～24才	11.0	21.7	19.5	47.4	0.4
性	男	25.8	22.0	16.7	34.8	0.7
	女	25.0	24.3	17.6	31.9	1.2

居住青少年の寄宿舍入居年数は、事業所の勤続年数と同じような傾向

がみられ、3年以上が多く30.1%を占め、つぎが1年未満の28.5%、1年～2年未満23.2%、2年～3年未満17.4%となつている。事業所規模別にみると、3年以上居住しているものは規模の小さい事業所に多くみられる（500人以上26.9%、30～99人37.2%）。

年齢別にみると、15才～19才では1年未満が最も多く45.9%、20～24才では3年以上（42.1%）が最も多く、この点は事業所の勤続年数と同じような傾向がみられる。性別では、3年以上寄宿舍に居住するものは男子（29.4%）よりも女子（31.1%）に多い。

第54表 寄宿舍居住青少年の寄宿舍入居年数構成 (単位 %)

区 分	総 数	1 年 未 満	1～2年未満	2～3年未満	3年以上	不 明
総 数	100.0	28.5	23.2	17.4	30.1	0.8
事業所規模	500人以上	28.4	24.9	18.8	26.9	1.0
	100～499人	29.3	23.6	17.2	29.1	0.8
	30～99人	26.9	19.8	15.7	37.2	0.4
年 令	15～19才	45.9	23.7	14.3	14.9	1.2
	20～24才	14.7	22.8	19.9	42.1	0.5
性	男	29.5	22.9	17.5	29.4	0.7
	女	27.0	23.6	17.3	31.1	1.0

3) 仕事の内容と交替制

寄宿舍に居住する青少年は現場に働く者が多く76%、事務は13.4%で、その他の仕事についているものが10.5%である。現場で働いているものは事業所の規模が小さいところに多く、30～99人では85%であるが、500人以上では70.8%である。

交替制勤務をしている者は24.7%おり、事業所規模の大きい所に交替制で働いている者が多い（500人以上31.1%、30～99人15.7%）。交替制の内容をみると、2交替制が多く75.9%、3交替制が22.6%である。仕事の内容別にみると、交替制で働いているものは現場で働く者に多く（31.6%）、事務をしている者で交替制のあるものは1.2%にすぎない（第55表）。

(2) 寄宿舎に居住する青少年の余暇の過ごし方

1) 通学状況

寄宿舎居住青少年で、調査時に学校などに通学しているもの（事業所の中にある学校なども含む。）は21.9%である。その内容をみると高校定時制が多く（45.3%）、つぎが各種学校（15.3%）、大学・短大二部（8.2%）となつている。

年齢別にみると、学校などに通学しているものは15～19才の未成年層に多く34.7%を占めているが、20～24才では11.9%である。未成年層は高校定時制に集中しており（63.8%）、20～24才では、各種学校（21.8%）、大学・短大二部（17.8%）などに分散している。

性別では、学校に通学しているものは、男子（14.5%）より女子（31.3%）に多い。その内容をみると、男女ともに約半分は高校定時制に通学しており、各種学校で学んでいるものがこれについている（男子12.1% 女子17.2%）。大学・短大二部、職業訓練施設に学ぶものは男子に多く、高校通信制、短大三部（いわゆる昼間定時制）は女子に多い。「その他」に女子の占める割合が比較的多いが（25.5%）、これは事業所が女子の教養をたかめるために経営している教育施設で学んでいるものではないかと推測される（第56表）。

2) 学習の場所

寄宿舎の日常生活で居住青少年はどこで勉強や読書などをしているかを質問したところ、自分たちの居室で勉強などする者が圧倒的に多く95.9%で、寄宿舎内の学習室や図書室などを利用しているものは3.2%である。居室で勉強している者に学習室や図書室があるのかどうか聞いてみると、学習室はあるけれど利用しないものが26.5%である。学習室や図書室を利用しない理由は居室のほうが勉強しやすいというものが大部分で、学習室などが満員で利用できないというものはわずか2.4%である。

一方、学習室などが無いと答えたものに、「学習室などがほしいですか」と質問したところ、「あつたほうが便利」と答えたものが55.3%

であるが、「なくても困らない」というものは42.2%いる。

個室か1室に2人以上居住するかによつて学習の状況が異なるかどうかをみると、両者ともに居室で学習しているものが大部分であるが、寄宿舎内の学習施設を利用しているのは1室に2人以上居住するものに多く、また学習室などは「あつたほうが便利」という意見もこの層に多い(第57表)。

3) 余暇をすごす場所

寄宿舎に居住する青少年に、調査日前の1週間の平日はおもにどこですごしたかと聞いたところ、寄宿舎内ですごしたものが多く80.9%である。喫茶店やスナックなどの飲食店を利用したものは8.9%、体育施設を利用したものは少なく事業所の施設1.3%、公共の施設が1.2%にすぎない。

寄宿舎規模別にみると、喫茶店やスナックなどの飲食店を利用したものは規模の小さい寄宿舎のほうに多く、500人以上では5.3%に対し、15～49人10.9%、1～14人10.2%である。体育施設では事業所内の体育施設を利用したものは大きい寄宿舎に多く、公共の体育施設を利用したものは小さい寄宿舎に多い。

年令別にみると、15～19才の層は寄宿舎内にいるものが多く(15～19才83.3%、20～24才79%)、喫茶店やスナックなどの利用者は20～24才に多い(15～19才5.8%、20～24才11.4%)。

性別にみると、寄宿舎内にいるものは女子に多く(男子77.7%、女子84.9%)、喫茶店やスナックなどの飲食店利用者は男子に多い(男子12.9%、女子3.8%)。また公立、事業所をとわず体育施設を利用したものは男子に多い(表58表)。

第56表 寄宿舎居住青少年の通学状況 (M. A.)

区 分	総 数	学 生						職業 訓練 施設	各 種 学 校	その他		学んで いない	不 明
		小 計	高 校		大 学・短大 (併)		通信 教育			不 明			
			定時制	通信制	二 部	三 部							
年 令	総 数	(21.9) 1000	45.5	4.2	8.2	3.2	0.9	5.1	15.5	20.1	0.2	(77.7)	(0.4)
	15～19才	(34.7) 1000	65.6	5.8	4.0	1.3	0.4	2.9	12.4	10.0	0.2	(64.8)	(0.5)
	20～24才	(11.9) 1000	3.6	0.5	1.78	7.6	2.0	3.6	21.8	43.1		(87.7)	(0.4)
性 別	男	(14.5) 1000	52.5	2.5	13.4	0.4	1.7	7.1	12.1	10.9		(85.3)	(0.2)
	女	(31.3) 1000	41.2	5.1	5.1	4.9	0.5	0.7	17.2	25.5	0.2	(68.0)	(0.7)

【注】「三部」はいわゆる昼間定時制や短大にみられ、主として二交代制を採用している事業所に働く者を対象にしている。

第57表 寄宿舎居住青少年の学習の場所、学習施設に関する意識

区 分	総 数	学 居				施 設				寄宿舎 内の学 習施設	不 明			
		あり（利用しない理由）		なし（学習施設設置についての意識）		なし（学習施設設置についての意識）		不明						
		小 計	居室が 快適し やすい	満員で 利用で きない	その他	不明	小 計		な く も 困 ら な い			方 が 更 に 利 便	そ の 他	不明
総 数	(1000)	(95.9)										(3.2)	(0.9)	
	1000	265				73.4					0.1			
	1000	1000	843	24	10.6	2.7	100.0	42.2	55.3	1.7	0.8			
部 屋 制	(1000)	(97.2)										(1.9)	(0.9)	
	1000	146				85.4								
	1000	1000	924	22	2.2	3.2	100.0	50.0	47.9	1.5	0.6			
1室に 2人以上 上居住	(1000)	(95.5)										(3.6)	(0.9)	
	1000	299				70.0					0.1			
	1000	1000	852	24	11.8	2.6	100.0	39.5	57.9	1.8	0.8			

第58表 寄宿舎居住青少年の平日の余暇をすごした場所 (M.A.)

(単位 %)

区 分	総 数	寄 宿 舎 内	事業所の施設		喫茶店・ スナック などの 飲食店	公立な どの体 育文化 施 設	その他	不 明
			体 育 施 設	その他				
総 数	100.0	80.9	1.3	2.1	8.9	1.2	14.5	0.8
規 模	150人以上	100.0	83.4	2.6	5.5	0.9	11.4	0.9
	50～149人	100.0	80.9	0.6	9.4	1.3	12.7	0.5
	15～49人	100.0	81.0	1.2	10.9	0.9	15.6	0.9
	1～14人	100.0	76.8	0.4	10.2	2.1	19.4	1.0
年 令	15～19才	100.0	83.3	1.3	5.8	1.0	13.3	0.6
	20～24才	100.0	79.0	1.3	11.4	1.3	15.4	1.0
性 別	男	100.0	77.7	2.1	12.9	1.8	17.2	0.3
	女	100.0	84.9	0.4	3.8	0.5	11.1	1.5

ところで、休日の余暇をすごす場所は平日のそれとはどのように異なっているであろうか。まず寄宿舎内にいるものは過半数を下廻り(32.8%)、喫茶店やスナックなどの飲食店を利用したもの(13.4%)、公立などの体育施設を利用したもの(3.8%)が平日にくらべると、かなり多くなっている。寄宿舎規模別にみると、喫茶店やスナックなどの飲食店などを利用したものは平日と同じように規模の小さい寄宿舎に多いが、体育施設を利用したものは平日と異なつた傾向がみられ、公立の体育施設利用者が多くなり、しかも大きな寄宿舎のものであつても事業所内の施設よりも公立の施設の利用者が多くなっている。

年令別にみると、15～19才の層では寄宿舎に多いものが多い(15～19才36.5%、20～24才29.9%)。性別では、寄宿舎内にいるものは平日と同じように男子(29.5%)よりも女子(37%)に多く、公立などの体育文化施設を利用したものは平日にくらべると男女ともにその割合が多いが、とくに女子の利用者の増加が目につく(女子平日0.5%、休日3.3%) (第59表)。

第59表 寄宿舍居住青少年の休日に余暇をすごした場所 (M.A.)

(単位 %)

区 分	総 数	寄宿舍内	事業所の施設		喫茶店・ スナック などの 飲食店	公立な どの体 育文化 施設	その他	不 明
			体育施設	その他				
総 数	100.0	32.8	1.4	2.0	13.4	3.8	55.4	0.7
規 模 寄 宿 舎	150人以上	100.0	32.7	1.7	2.6	11.7	54.2	0.5
	50～149人	100.0	30.6	1.6	1.6	13.0	54.2	0.6
	15～49人	100.0	36.0	1.3	2.2	13.4	54.6	1.0
	1～14人	100.0	29.9	0.6	1.2	16.5	60.1	0.4
年 令	15～19才	100.0	36.5	1.4	2.1	12.0	52.0	0.6
	20～24才	100.0	29.9	1.3	1.9	14.5	58.1	0.7
性	男	100.0	29.5	2.4	2.4	15.2	57.6	0.3
	女	100.0	37.0	0.1	1.5	11.1	52.7	1.2

4) 余暇のすごし方

寄宿舍で生活する青少年に調査日よりさかのぼって1週間の平日と休日、おもに何をしてすごしたかについて4つ程度項目をあげてもらった結果は第60表に示すとおりである。

第60表 寄宿舍居住青少年の性、学歴別平日の余暇のすごし方 (M.A.)

(単位 %)

区 分	総 数	ラジオ	新聞・ 雑誌・ テレビ	ス ポ ー ツ	将棋・マ ージャン など室内 遊 戯	映画・ 演劇・ 音楽会 スポーツ 見 物	けいこ ごと・ い 趣 味	デ ー ト	友 人 と 雑 談	休 養	ド ラ イ ブ	そ の 他	不 明
総 数	100.0	75.9	47.3	8.2	9.4	4.2	24.6	6.1	46.6	24.7	3.4	8.4	1.7
性	男	100.0	76.0	5.0	12.7	16.7	5.6	9.2	40.1	27.0	5.0	7.6	1.6
	女	100.0	75.8	44.2	2.4	0.2	24	44.1	5.8	54.8	21.7	1.3	9.4
学 歴	中 学 卒	100.0	77.3	39.5	7.8	5.8	4.0	24.1	5.3	46.5	21.9	2.9	9.9
	高 校 卒	100.0	75.9	53.3	8.1	10.5	4.2	26.1	7.2	47.5	26.6	4.0	7.2
	短大卒以上	100.0	65.8	62.1	11.6	26.8	5.3	16.3	3.7	40.0	30.5	1.6	6.3

居住青少年の平日の余暇のすごし方のなかで最も多いもの3つをあげると、「ラジオ・テレビ」(75.9%)、「新聞・雑誌・読書等」(47.6%)、「友人と雑談」(46.6%)となつている。第4位は休養(24.7%)で、けいこごとと趣味(24.6%)、将棋・マージャンなど室内遊戯(9.4%)、スポーツ(8.2%)、デート(6.1%)の順

になつてゐる。

性別にみると、「ラジオ・テレビ」、「デート」は、あまり差がないのであるが、「その他」についてはかなり相異がみられ、「新聞・雑誌・読書など」は男子に多く（男子50.3%、女子44.2%）、「友人と雑談」は女子に多い（男子40.1%、女子54.8%）。「スポーツ」（男子12.7%、女子2.4%）、「将棋・マージャンなどの室内遊戯」（男子16.7%、女子0.2%）、「映画・演劇・音楽会・スポーツ見物」（男子5.6%、女子2.4%）、「ドライブ」（男子5%、女子1.3%）、「休養」（男子2.7%、女子21.7%）は男子に多く、「けいごとと・趣味」（男子9.2%、女子44.1%）は女子の占める割合がいちじるしく多い。

同じく第60表によつて学歴別に余暇のすごし方をみると、「ラジオ・テレビ」は学歴の低いほうに多く、「新聞・雑誌・読書など」「休養」は学歴の高いほうに多い。「友人と雑談」は高卒より中卒がわずかに多く、「けいごとと・趣味」は高卒が中卒より少し多い。

「スポーツ」、「将棋・マージャンなどの室内遊戯」は学歴の高いほうに、とくに短大卒以上に多い。「映画・演劇・音楽会・スポーツ見物」は学歴による差はあまりみられない。

平日と休日で寄宿舎に生活する青少年の余暇のすごし方はどのように変わるかについては第61表に示すとおりである。休日においても「ラジオ・テレビ」、「新聞・雑誌・読書など」、「友人と雑談」の3つが余暇のすごし方のなかで占める割合が最も高いのであるが、その割合がかなり少くなつてゐる。すなわち、「ラジオ・テレビ」は平日の75.9%に対し週休1日は50.6%、週休2日にはさらに減少し46.1%である。また「新聞・雑誌・読書など」と、「友人と雑談」についても平日にくらべると休日はかなりその割合が減少している（前者は平日47.6%、週休1日28.1%、週休2日27.5%、後者は平日46.6%、週休1日28.6%、週休2日31%）。

上記3つの他に休日に減少する余暇のすごし方として、「将棋・マージャンなどの室内遊戯」と「けいごとと趣味」があげられる。

一方、平日よりも休日のほうが増加している余暇の過ごし方は、「スポーツ」、「映画・演劇・音楽会・スポーツ見物」、「デート」、「ドライブ」がある。

平日に全くみられない休日の余暇の過ごし方として、「帰郷」（週休1日8.5%、週休2日9.7%）、「ハイキングなど日帰り旅行」（週休1日6.8%、週休2日5.6%）、「宿泊旅行」（週休1日2%、週休2日4.2%、）がある（第61表）。

休日における余暇の過ごし方を性別にみると、平日と同じような傾向がみられるが、その割合には変動がみられる。休日には平日よりも男女ともにその割合が減少するのは、上位3位になつている「ラジオ・テレビ」、「新聞・雑誌・読書など」、「友人と雑談」のほかに、「将棋・マージャンなどの室内遊戯」と「けいこごとと趣味」がある。休日においても「ラジオ・テレビ」を視聴する者はとくに女子に多いがその割合はかなり減少している（女子は平日75.8%、週休1日54.7%、週休2日46.4%、男子は平日76%、週休1日47.4%、週休2日45.8%）。「新聞・雑誌・読書など」は平日（男子50.3%、女子44.2%）より休日はその割合が減少し週休1日、週休2日は男女ともに約3割程度になるが、女子は週休1日目は男子より読書などする者がどくわづかに多くなつているものの、週休2日では読書などする者は男子よりかなり少ない。「友人と雑談」するものは平日と同じように女子が男子より多いが、その割合は減少している（女子、平日54.8%、週休1日34.4%、週休2日41.5%）。「将棋・マージャンなど室内遊戯」は男子は平日16.7%から週休1日は9.6%、週休2日11.6%と減少しているが、女子はどくわづかに増加の傾向がみられる。平日には女子の44%が「けいこごとと趣味」をしているが、休日には半減している。

休日には「スポーツ」、「ドライブ」、「映画・演劇・音楽会・スポーツ見物」するものが平日よりも男女ともに増加するが、その割合は男子のほうがはるかに多い。すなわち第62表に示すとおり、「スポーツ」は週休1日では男子17.5%（平日12.7%）、女子6.8%（平日2.4%）で、週休2日もほぼ似た割合となつている。「ドライブ」は週休1日では男子16.6%（平日5.0%）、女子7.1%（平日1.3%）で週休2日は男女ともにいくぶんその割合が減少している。「映画・演劇・

音楽会・スポーツ見物」は週休1日は男子16.5%（平日5.6%）、女子12%（平日2.4%）で週休2日は男子は減少するが女子は全く同じ割合である。

「デート」は男女ともに休日は平日よりも多く、とくに週休2日は女子の割合がたかく19.7%（平日5.8%）に対して、男子は13.3%（平日6.4%）となつている。

とくに休日にみられる余暇のすごし方としての「帰郷」は男女ともに8～10%で大きな差はみられないが、「ハイキング・日帰り旅行」は女子がいくぶん多い。「宿泊旅行」は週休1日は男女ともに2%程度であるが、週休2日は男子が多くなり6%となつている。

休日に休養したと答えたものは、男女ともに約4人に1人で平日とその割合はあまり変わらないが、男子に休養しているものが多い（第62表）。

5) 週休2日制と余暇のすごし方

週休2日制がとりいれられていると答えたものは、居住青少年の20.8%で、企業規模の大きいところに多い（1,000人以上34.4%、30～99人5.6%）（第63表）。

週休2日制になつたので余暇のすごし方が変わったかどうか質問したところ、変わったと答えたものは26.1%で、変わらないというもののほうが多い（46.8%）。変わったと答えたものの年齢別をみると、20～24才に多く30.8%であるが、15～19才では18.6%となつている。性別では男子26.5%、女子25.5%であまり差がみられないが、学歴別では学歴の高いもののほうに変わったと答えたものが多く、中卒19%、高卒27.5%、短大卒以上31.9%である（第64表）。

週休2日制となり余暇のすごし方がどのように変わったかを見ると、最も多いのが「休養」で22.5%、つぎが「けいごとと趣味」（20%）、第3位が「スポーツ」（17.5%）、第4位「ハイキングなど日帰り旅行」（16.3%）、第5位が「宿泊旅行」（10.6%）、「デート」（10.6%）である。既に述べたとおり、平日、休日の余暇のすごし方のなかで最も多いもの三つをあげると、「ラジオ・テレビ」、「新聞・雑誌・読書」、「友人と雑談」であるが、これらが増加したと答えたものは6～7%程度である。

第61表 寄宿舎居住青少年の平日・休日の余暇の過ごし方 (M.A.)

(単位%)

区分	総数	ラジオ	新聞・雑誌・テレビ	スポーツ	将棋・マージャンなど室内遊戯	映画・演劇・音楽会・スポーツ見物	けいこごと・趣味	デート	友人と雑談	休養	ドライブ	帰郷	ハイキング等日帰り旅行	宿泊旅行	その他
平日	1000	75.9	47.6	8.2	9.4	4.2	24.6	6.1	46.6	24.7	3.4				8.4
週休1日	1000	50.6	28.1	12.8	5.4	14.5	12.3	11.2	28.6	24.4	12.4	8.5	6.8	2.0	16.1
週休2日	1000	46.1	27.5	13.2	6.8	11.3	15.7	16.0	31.0	24.5	10.2	9.7	5.6	4.2	15.5

第62表 寄宿舎居住青少年の週休1日・週休2日別にみた余暇の過ごし方 (M.A.)

(単位%)

区分	総数	ラジオ・テレビ	新聞・雑誌・読書等	スポーツ	将棋・マージャンなど室内遊戯	映画・演劇・音楽会・スポーツ見物	けいこごと・趣味	デート	友人と雑談	休養	ドライブ	帰郷	ハイキング等日帰り旅行	宿泊旅行	その他
週休1日	1000	47.4	27.7	17.5	9.6	16.5	6.8	11.8	23.9	24.9	16.6	8.3	5.6	2.0	13.1
週休2日	1000	54.7	28.6	6.8	0.3	12.0	19.2	10.6	34.4	23.6	7.1	8.8	8.2	1.9	19.8
週休1日	1000	45.8	31.3	18.5	11.6	10.8	10.0	13.3	23.3	25.7	12.9	10.8	4.0	6.0	14.1
週休2日	1000	46.4	22.4	6.0	0.5	12.0	23.5	19.7	41.5	23.0	6.6	8.2	7.7	1.6	17.5

第63表 寄宿舎居住青少年の週休2日制の実施状況

(単位%)

企業規模	総数	とりいれられている	いない	不明
総数	100.0	20.8	78.9	0.3
1,000人以上	100.0	34.4	65.3	0.3
300～999人	100.0	19.4	79.8	0.8
100～299人	100.0	8.3	91.6	0.1
30～99人	100.0	5.6	94.4	

性別にみると、週休2日になり余暇のすごし方で増加したものは、男子は「スポーツ」をあげるものが多く(24.5%)、つぎが「休養」(19.4%)、第3位は「けいこごとと趣味」(17.3%)、第4位「ハイキング・日帰り旅行」(15.3%)、第5位「宿泊旅行」(13.3%)となつていのに対し、女子は「休養」が最も多く(27.4%)、つぎが「けいこごとと趣味」(24.2%)、第3位「ハイキング・日帰り旅行」(17.7%)、第4位「デート」(12.9%)、第5位「友人と雑談」(11.3%)で、性によつて余暇のすごし方の相異がみられる。

この他、とくに注目されることは「将棋・マージャンなど室内遊戯」が増加したと答えたものは男子に限つて多くなつてい(第65表)。では週休2日制になつても余暇のすごし方が変わらないというもの(総数の46.8%)について、その理由を聞いてみると、「小づかいにゆとりがない」に集中しており、56.4%であるが、「何をしてよいかわからない」というものがかなり多く14.3%、「遊び方がわからない」6.6%で、約5人に1人は余暇の増大に対してなすすべが分らない状態といえよう。週休2日制になつても「勉強がいそがしくて」余暇のすごし方が変わらないものは5.4%である。

性別にみると、「小づかいにゆとりがなくで」というものは男子に多く61.8%(女子46.5%)、「何をしてよいか分らない」は女子に多く20.8%(男子10.8%)である。

学歴別にみると、「小づかいにゆとりがない」というものは高卒に多く(59.8%)、「何をしてよいか分らない」「遊び方が分らない」は中卒に多く、前者17.2%、後者11.5%である。「勉強がいそがしい」というものは学歴の高いものに多い傾向がみられ、中卒2.3%、高卒5.2%、短大卒以上15.4%となつてい(第66表)。

第64表 寄宿舎居住青少年の週休2日制による余暇の過ごし方の変ほう状況

(単位 %) (単位 %)

余暇の過ごし方	数	年 令		性 別		学 歴	
		15～ 19才	20～ 24才	男	女	中学卒	高校卒 以上
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
変わつた	26.1	18.6	30.8	26.5	25.5	19.0	31.9
変わらない	46.8	45.8	47.5	50.3	41.6	63.5	37.7
そ の 他	8.0	10.6	6.3	10.5	4.1	8.0	21.7
不 明	19.1	25.0	15.4	12.7	28.8	9.5	8.7

第65表 週休2日制による余暇の過ごし方の変ほうの内容

(単位%)

性 別	総 数	テレビ ラジオ	新聞・ 雑誌・ 読書等	スポーツ	将棋・ マージ ヤンナ ど室内 遊 戯	映画・ 演劇・ 音楽会・ ユポ・ 見 物	けいこ ごと・ 趣味	デート	友人 と 雑 談	休 養	ドライブ	帰 郷	ハイキ ング等 日帰り 旅 行	宿 泊 旅 行	その他	不 明
総 数	(261) 100.0	6.9	7.5	17.5	6.9	10.2	20.0	10.6	6.3	22.5	6.9	8.1	16.3	10.6	4.4	4.4
男	(265) 100.0	5.1	8.2	24.5	11.2	12.2	17.3	9.2	3.1	19.4	10.2	9.2	15.3	13.3	4.0	2.0
女	(255) 100.0	9.7	6.5	6.5		6.5	24.2	12.9	11.3	27.4	1.6	6.5	17.7	6.5	4.8	8.1

第66表 週休2日制になつても余暇のすごし方が変わらない理由 (M.A.)

(単位 %)

区 分	総 数	小づかい にゆとり がない	勉強が いそが しい	遊び方 がわか らない	何をし てよいか わからない	その他	不 明
総 数	(468) 100.0	56.4	5.4	6.6	14.3	21.6	4.5
性 男	(503) 100.0	61.8	5.9	8.1	10.8	19.4	2.2
女	(416) 100.0	46.5	4.0	4.0	20.8	25.7	8.9
学 歴 中 学 卒	(635) 100.0	55.2	2.3	11.5	17.2	18.4	3.4
高 校 卒	(427) 100.0	59.8	5.2	4.0	13.8	19.5	5.7
短大卒以上	(377) 100.0	38.5	15.4	7.7	7.7	46.2	

(3) 寄宿舎に居住する青少年の給料の使い方

1) 手取給与額

調査時(昭和47年10月)における寄宿舎居住青少年の平均手取り給与額は3,953.2円で、企業規模が高いほうが手取り給与が多く、1,000人以上では4,057.6円に対し、30~99人では3,822.1円である。手取り給与の分布をみると、3万円~5万円未満が圧倒的に多く70.3%で、つぎが5万円~7万円未満の14.4%、3万円未満は13.6%となつている。

性別にみると、平均手取り給与額は男子4,312.5円、女子3,492.6円である(第67表)。

(註)

第67表 寄宿舎居住青少年の手取り給与の分布と平均手取り給与額

(単位 %)

区 分	総 数	小 計	3万円 未 満	3万円 ~ 5万円	5万円 ~ 7万円	7万円 以 上	平均賃金 手 取 額	不 明
総 数	(1000)	(966) 100.0	13.6	70.3	14.4	1.7	円 3,953.2	(3.4)
企業規模								
1000人以上	(1000)	(976) 100.0	10.7	70.7	17.1	1.5	4,057.6	(2.4)
500~999人	(1000)	(952) 100.0	5.7	80.2	13.4	0.7	4,012.6	(4.8)
100~299人	(1000)	(950) 100.0	19.1	67.4	10.8	2.7	3,805.6	(5.0)
50~99人	(1000)	(982) 100.0	23.1	61.1	13.7	2.1	3,822.1	(1.8)
性 男	(1000)	(971) 100.0	8.4	64.4	24.1	3.1	4,312.5	(2.9)
女	(1000)	(959) 100.0	20.3	77.9	1.8		3,492.6	(4.1)

(注) 手取り給与額は昭和47年10月における税金・厚生年金・失業保険・健康保険の掛金を差引いた現金給与額をいう。

2) 生活基本費

居住青少年の生活基本費（食費と寮費と自治会費をたしたもの）の平均額は7,249円で、企業規模の小さいところは生活基本費も少なくなっており、1,000人以上7,743円に対して30～99人では6,530円である。この分布状況をみると、5,000円～7,000円未満が多く38.7％、つぎが7,000円～10,000円未満は21.9％5,000円未満21.6％の順になつてゐる。15,000円以上を生活基本費にあててゐるものが5.1％みられるが、企業規模が大きいものにその割合が多く、1,000人以上では6.8％であるが、30～99人では2.5％にすぎない。

性別にみると、平均生活基本費は男子8,068円、女子6,199円である（第68表）。

註

第68表 寄宿舍居住青少年の生活基本費の分布と平均生活基本費

(単位 円)

区 分	総 数	小 計	5,000 円未満	5,000円 ～ 7,000円	7,000円 ～ 10,000円	10,000円 ～ 15,000円	15,000 円以上	平均生活 基本 費	不 明
総 数	(100.0)	(96.4) 100.0	21.6	38.7	21.9	12.7	5.1	7,249 円	(3.6)
企 業 規 模	1,000人以上	(100.0) (97.1) 100.0	15.7	41.2	20.7	15.6	6.8	7,743	(2.9)
	300 ～ 999人	(100.0) (94.9) 100.0	21.5	40.5	19.4	14.1	4.5	7,138	(5.1)
	100 ～ 299人	(100.0) (95.6) 100.0	28.6	32.7	23.3	11.1	4.3	6,951	(4.4)
	30 ～ 99人	(100.0) (98.2) 100.0	27.0	38.7	26.3	5.5	2.5	6,530	(1.8)
性 別	男	(100.0) (97.0) 100.0	15.5	31.6	28.5	16.6	7.8	8,068	(3.0)
	女	(100.0) (95.8) 100.0	29.4	47.8	13.5	7.6	1.7	6,199	(4.2)

(注) 生活基本費は、昭和47年10月における食費と寮費と自治会費をたしたものである。

3) 教養娯楽費

居住青少年の教養娯楽費(学費を含む)。の平均額は9,690円で、企業規模別にみると企業規模が大きいところの青少年が必ずしも教養娯楽費が多いとはいえず、1,000人以上が9,540円に対し、300～999人は10,411円である。教養娯楽費の分布をみると、5,000円未満が多く28.7％で、つぎが5,000円～10,000円未満で23.9

％、10,000円～15,000円未満23％となつてゐるが、30,000円以上を教養娯楽費にあててゐるものが2.9％みられる。

居住青少年のなかには教養娯楽費が全くないというものが11％あり、企業規模の小さいところに多く、1,000人以上では8.5％であるが、30～99人では16％である。

性別に教養娯楽費をみると、男女でかなりの差がみられ、平均額は男子10,412円、女子5,255円である（第69表）。

(注)

第69表 寄宿舎居住青少年の教養娯楽費の分布と平均教養娯楽費

(単位 円)

区 分		総数	教 養 娯 楽 費 あ り							平均 教養 娯楽 費	教養 娯楽 費 なし	不明
			小計	5,000円 未 満	5,000円 ～ 10,000円 未 満	10,000円 ～ 15,000円 未 満	15,000円 ～ 25,000円 未 満	25,000円 ～ 50,000円 未 満	50,000 以 上			
総 数		(1000)	(840) 1000	280	239	230	204	18	29	円 9,690	(110)	(50)
企 業 規 模	1,000 人 以上	(1000)	(878) 1000	295	237	224	195	18	31	9,540	(85)	(37)
	300～ 999 人	(1000)	(828) 1000	256	232	258	226	18	30	10,411	(114)	(58)
	100～ 299 人	(1000)	(809) 1000	282	230	230	219	14	25	9,774	(120)	(71)
	30～99 人	(1000)	(802) 1000	291	272	210	174	25	28	8,992	(160)	(38)
性	男	(1000)	(845) 1000	146	194	270	311	29	50	10,412	(109)	(46)
	女	(1000)	(832) 1000	451	298	179	65	05	02	5,255	(113)	(55)

(注) 教養娯楽費には学費を含む。(昭和47年10月)

4) 親元への送金

居住青少年のなかで親元へ送金しているものは22.1%で、送金していないもの(71.7%)のほうが多い。送金しているものの平均送金額は8,123円で、企業規模別にみると平均額がもつとも高いものは30～99人で8,934円であるが、送金しているものの割合は18.7%で最も少なくなっている。

親元への送金額の分布状況を見ると、5,000円～10,000円未満が多く38.2%、つぎが10,000円～15,000円未満30.6%、5,000円未満17.8%である。

性別にみると、平均送金額は男子9,648円、女子6,497円未満となっている(第70表)。

5) 貯金額

寄宿舎に居住する青少年は貯金しているものが多く、76.6%で、平均貯金額は11,967円である。企業規模別にみると、貯金しているものは1,000人以上にその割合が多く83%であるが、この層の平均貯金額は12,475円である。30～99人の企業規模では貯金しているものは74.6%で1,000人以上よりもその割合は少ないが、平均貯金額(12,709円)は他の規模にくらべて最も高い。

居住青少年の貯金の分布状況は、1万円～1.5万円未満が多く39.6%で、15,000円～25,000円未満27.2%、5,000円～10,000円未満20.9%の順になっている。

性別にみると、貯金をしているものの割合は女子に多く85.6%(男子69.5%)であるが、平均貯金額は男子が高く12,378円(女子11,545円)である(第71表)。

(単位 万円)

第70表 寄宿舎居住青少年の親元への送金額分布と平均送金額

区分	総数	送金してはい						送金しない	不明
		小計	5,000円未満	5,000円満了	10,000円未満 15,000円満了	15,000円未満 25,000円満了	25,000円以上		
総数	(100.0)	{22.1} 100.0	17.8	58.2	30.6	11.5	1.9	(71.7)	(6.2)
企業規模	1,000人以上	{22.8} 100.0	23.4	37.2	28.1	10.6	0.7	(71.4)	(5.8)
	300~999人	{22.0} 100.0	14.5	40.6	30.8	12.0	2.3	(71.9)	(6.1)
	100~299人	{23.0} 100.0	10.6	41.6	34.1	10.6	3.1	(68.7)	(8.3)
	30~99人	{18.7} 100.0	19.3	31.5	31.5	15.7	2.4	(77.5)	(4.0)
性別	男	{20.4} 100.0	8.0	34.2	38.1	16.7	3.0	(75.5)	(4.3)
	女	{24.2} 100.0	28.5	42.6	22.5	6.0	0.6	(67.2)	(8.6)

(注) 昭和47年10月の送金額

(単位 万円)

第71表 寄宿舎居住青少年の貯金額分布と平均貯金額

区分	総数	貯金あり						なし	不明
		小計	5,000円未満	5,000円満了	10,000円未満 15,000円満了	15,000円未満 25,000円満了	25,000円以上		
総数	(100.0)	{76.6} 100.0	6.9	20.9	59.6	27.2	5.4	(19.6)	(3.8)
企業規模	1,000人以上	{83.0} 100.0	5.0	18.0	41.5	31.5	4.2	(14.7)	(2.3)
	300~999人	{74.9} 100.0	6.2	24.3	41.4	24.5	3.8	(20.5)	(4.6)
	100~299人	{68.6} 100.0	10.2	25.4	38.3	20.0	6.1	(25.1)	(6.5)
	30~99人	{74.6} 100.0	9.0	18.7	53.7	28.5	10.3	(22.5)	(2.9)
性別	男	{69.5} 100.0	8.1	21.1	56.5	25.4	8.9	(26.6)	(3.9)
	女	{85.6} 100.0	5.7	20.7	42.8	29.0	1.8	(10.6)	(3.8)

(注) 昭和47年10月の貯金額

(4) 寄宿舎に居住する青少年の生活意識

1) 寄宿舎の住みごころ

居住青少年に「寄宿舎の住みごころはいかがですか」と質問したところ、「まあまあだ」(63.2%)と答えたものが多く、「よい」(17.0%)と答えたものを合わせるとほとんどの青少年(80.2%)が寄宿舎生活を肯定しているとみられる。しかし、19.4%の青少年が「わるい」と感じていることは注目される。

住みごころが「よい」理由としては、「生活費が安くすむのでよい」が多く(47.9%)、「いつも友だちと一緒に楽しい」(40.4%)、「集団生活は自分を磨くよい機会と思う」(39.2%)の順となつてゐる。性別にみると、かなり異なつた傾向がみられ、「生活費が安くすむのでよい」は男子に多く54.5%(女子38%)、また「いつも友だちと一緒に楽しい」も男子に多い(男子43.6%、女子35.5%)。一方、「集団生活は自分を磨くよい機会と思う」は女子に多く48%(男子33.3%)となつており、女子のほうに寄宿舎生活は自己修練の場との意識のものが多くなる。

住みごころが悪いと答えたもの(総数の19.4%)の理由をみると、「いつもだれかと一緒なので気持が疲れる」34.4%で、「事業所や自治会の管理がうるさい」というものがかなりいる(30.6%)。「職場で不快なことがあつたときもちこまれる」というものが5人に1人いることは留意すべきことであろう。性別にみると、「いつもだれかと一緒なので気持が疲れる」はあまり男女差がみられないが、「事業所や自治会の管理がうるさい」、「職場で不快なことがあつたときもちこまれる」は女子に多い(第72表)。

2) 寄宿舎生活の継続意識

「賃金が上つたら間借りなどをして寄宿舎を出たいと思いますか」の質問に対して、約半数の青少年が「その時になつてみなければわからない」(48.0%)と答えており、つぎに多いのが「出たいと思う」(25.3%)、「結婚するまでは出るつもりはない」(21.8%)となつてゐる。性別にみると「その時になつてみなければわからない」ものが女子に多く51.2%で(男子45.4%)、「結婚するまでは出るつもりはない」または「出たいと思う」と答えたものは男子に多い。

学歴別にみると「その時になつてみなければわからない」ものは、学歴の低いものに多く、「結婚するまでは出るつもりはない」ものは、学歴が高いほうに多い傾向がみられる（第73表）。

第72表 寄宿舍居住青少年の寄宿舍生活の意識(M.A.)

(単位 %)

区 分		総 数	性	
			男	女
総 数		(100.0)	(100.0)	(100.0)
よ い	小 計	(17.0) 100.0	(18.4) 100.0	(15.4) 100.0
	いつも友だちと一緒に楽しい	40.4	43.6	35.5
	生活費が安くすむのでよい	47.9	54.5	38.0
	集団生活は自分を磨くよい機会と思う	39.2	53.5	48.0
	そ の 他	8.2	9.6	6.0
	不 明	1.0	1.0	1.0
わる い	小 計	(19.4) 100.0	(20.4) 100.0	(18.1) 100.0
	いつもだれかと一緒なので気持ちが疲れる	54.4	54.8	53.9
	事業所や自治会の管理がうるさい	50.6	26.5	56.4
	職場で不快なことがあつたときもち込まれる	19.9	17.6	23.5
	そ の 他	52.0	53.5	50.1
	不 明	2.6	3.5	1.7
	ま あ ま あ	(63.2)	(60.7)	(66.5)
	不 明	(0.4)	(0.5)	(0.2)

第73表 寄宿舍居住青少年の寄宿舍生活の継続意識

(単位 %)

区 分		総 数	出たい と思う	その時になつてみなければわからない	結婚するまでは出るつもりはない	その他	不 明
総 数		100.0	25.5	48.0	21.8	4.5	0.6
性	男	100.0	27.2	45.4	23.2	3.5	0.7
	女	100.0	22.9	51.2	20.0	5.5	0.6
学 歴	中 学 卒	100.0	22.2	56.1	16.6	4.6	0.5
	高 校 卒	100.0	27.6	43.4	24.8	3.5	0.7
	短大卒以上	100.0	50.5	24.2	56.5	7.9	1.1

3) 苦情やなやみごとなど

寄宿舎に居住する青少年に「あなたは今、苦情やなやみごとがありますか」と質問したところ、何らかの苦情やなやみごとのあると答えたものは82.9%で、女子になやみや苦情のあるものが多く88.7%、男子は78.3%である(第74表)。

第74表 寄宿舎居住青少年の苦情やなやみごとの有無

(単位 %)

なやみごと	総 数	年 令		性	
		15～19才	20～24才	男	女
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
あ り	82.9	82.3	83.3	78.3	88.7
な し	16.9	17.5	16.4	21.5	11.1
不 明	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2

寄宿舎生活に関する苦情やなやみごとでは、「施設・設備など」に関するものが最も多く81.9%、ついで「人間関係」53.3%、「管理運営面」に関するもの34.4%となつている。「施設・設備」などの苦情は男子に多く84.6%に対し、女子は78.9%と相対的に低く、「人間関係」(女子60.1%、男子47.3%)および「管理・運営面」(女子45.6%、男子24.5%)は女子に多い。

年令別にみると15～19才に「人間関係」、「管理・運営面」についてのなやみをもつものが多い。

その他の人生一般に関するなやみについては、20～24才の層および女子にその割合がいくぶん多く、20～24才85.0%に対して、15～19才81.6%、女子84.9%に対して男子82.3%となつている。

一施設・設備など一

居住青少年の60.4%が「食事がわるい」といつており、性別には男子に食事の苦情が多く65.4%(女子54.4%)となつている。ついで娯楽設備についての苦情で36.5%、運動設備が31.0%を占めているが、年令別にはそれぞれ20～24才にその割合が高い傾向がみられ、

前者38.5%（15～19才33.8%）、後者32.3%（15～19才29.3%）である。

性別にみると、男子は女子よりも運動設備や娯楽設備についての苦情が多く運動設備は38.9%（女子21.5%）、娯楽設備38.9%（女子33.6%）となつている。女子は食事につぐ苦情として、「洗たく場や浴室などの生活設備のこと」のように日常生活のなやみが目だち35.4%（男子22.7%）を占めている。「部屋がせまい」という者は、男子に多く年齢別にみると20～24才の層に多い。

—人間関係—

人間関係のなかでは「なんとなく私生活に干渉される」に集中しており67.3%を占め、これは、年齢、性別にみても同じ傾向を示している。つぎが「同じ部屋の人とうまくいかない」で14.7%である。

—管理運営面—

管理運営の苦情で多いのは「門限がきびしい」36.8%、外泊する時の手続きがめんどろ」30.3%、「舎監や寮母が私生活の世話をやきすぎる」26.4%で集団生活の秩序に関係するものが多い。一方、「舎監や寮母には親のように面倒をみてもらいたい」ものが23.5%でかなりおり、世話をやきすぎるといふものと面倒をみてほしいものとが交錯し、勤務者のあり方のむずかしさがうかがえる。性別にみると、門限に対する不満は女子に多く40.1%（男子31.3%）である。

—そ の 他—

人生一般のなやみについては、「自分の生き方のこと」でなやむものが最も多く72.6%を占め、ついで「仕事のこと」（46.5%）が「恋愛・結婚など異性のこと」（37.7%）を上廻つている。「仕事のこと」でなやんでいるものは年齢では15～19才（53.9%）と女子（50.2%）にその割合が高い（20～24才40.9%、男子40.3%）（第75表）。

第75表 寄宿舍居住青少年の苦情やなやみの内容 (M.A.)

(単位 %)

なやみごと		総数	年 令		性	
			15～ 19才	20～ 24才	男	女
総 数		<82.9> (100.0) (53.3)	<82.3> (100.0) (58.0)	<83.3> (100.0) (49.7)	<78.3> (100.0) (47.3)	<88.7> (100.0) (60.1)
人間関係	小 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	同じ部屋の人とうまくいかない	14.7	18.6	11.2	9.2	19.6
	寄宿舍内の先輩社員とうまくいかない	11.7	16.3	7.4	12.9	10.5
	舎監寮母などとうまくいかない	9.5	10.3	8.8	9.8	9.2
	何となく私生活が干渉される	67.3	67.0	67.4	65.6	68.7
	そ の 他	15.1	11.8	18.1	17.2	13.3
施設・設備など	小 計	(81.9) 100.0	(81.4) 100.0	(82.4) 100.0	(84.6) 100.0	(78.9) 100.0
	部屋がせまい	28.3	26.7	29.5	34.6	20.6
	洗たく場や浴室などの生活設備のこと	28.5	30.6	26.9	22.7	35.4
	運動設備のこと	31.0	29.3	32.3	38.9	21.5
	娯楽設備のこと	36.5	33.8	38.5	38.9	33.6
	食事がわるい	60.4	59.8	60.8	65.4	54.4
	消夏時間後に読書や勉強をする場所がない	11.7	12.5	11.0	8.3	15.7
	そ の 他	5.0	4.1	5.6	5.8	4.1
管理運営面	小 計	(34.4) 100.0	(40.0) 100.0	(30.1) 100.0	(24.5) 100.0	(45.6) 100.0
	外泊する時の手続きが面倒	30.3	30.7	29.9	20.3	36.3
	門限がきびしい	36.8	39.1	34.5	31.3	40.1
	舎監や寮母が世話をやきすぎる	26.4	27.9	24.8	24.4	27.6
	舎監や寮母にはもつと親のように面倒をみてもらいたい	23.5	22.7	24.3	22.8	24.0
	そ の 他	10.5	5.4	15.7	16.5	6.8
その他	小 計	(83.6) 100.0	(81.6) 100.0	(85.0) 100.0	(82.3) 100.0	(84.9) 100.0
	恋愛・結婚など異性のこと	37.7	30.2	43.4	36.5	39.1
	自分の生き方のこと	72.6	72.5	72.7	73.7	71.4
	仕事のこと	46.5	53.9	40.9	43.0	50.2
	そ の 他	4.2	4.5	4.0	4.8	3.6

(注) < >内の数字は、各欄の総数に占める「なやみごとあり」の者の比率

4) 苦情やなやみごとの相談相手

寄宿舍に居住する青少年の多くはなやみごとなどの相談相手があり
 (91.6%)、相談相手のいないものは7.2%である。相談相手につ
 いてみると、「友人」が74.7%を占め、ついで「親・きょうだい」

3.1.1%、「先輩社員・上司」23.2%となつている。「友人」が相談相手と答えたものについて、その内容をみると、「寄宿舍の友人」が43.5%を占め、ついで「職場内」28.3%、「その他」39.7%である。性別にみると、「相談相手あり」は女子に多く96.2%（男子88.0%）、そのうち「友人」は女子80.0%、男子70.2%、「寄宿舍の友人」は女子49.1%、男子38.1%となつている（第76表）。

第76表 寄宿舍居住青少年の苦情や悩みごとの相談相手（M.A.）

（単位 %）

相談相手		総 数	年 令		性	
			15～19才	20～24才	男	女
総 数		(1000)	(1000)	(1000)	(1000)	(1000)
あ り	小 計	(91.6) 100.0	(92.4) 100.0	(90.9) 100.0	(88.0) 100.0	(96.2) 100.0
	舎監・寮母等	3.9	3.5	4.2	3.5	4.3
	自治会の役員	0.6	0.3	0.7	0.8	0.2
	同じ部屋の人	16.4	22.0	11.8	10.1	23.6
	先輩社員・上司	23.2	19.6	26.1	27.2	18.5
	友 小 計	74.7 100.0	75.1 100.0	74.5 100.0	70.2 100.0	80.0 100.0
	友 寄宿舍内	43.5	48.8	39.3	38.1	49.1
	友 職 場 内	28.3	22.6	32.9	29.8	26.8
	友 そ の 他	39.7	39.4	39.8	44.0	35.3
	友 不 明	4.5	4.2	4.7	5.2	3.8
な し 不 明	親・きょうだい	31.1	32.6	29.9	25.8	37.2
	そ の 他	6.1	3.8	8.0	8.7	3.2
な し		(7.2)	(6.7)	(7.6)	(10.3)	(3.3)
不 明		(1.2)	(0.9)	(1.5)	(1.7)	(0.5)

5) 親元への連絡

最近2カ月の間に親元へ手紙を出したかどうかについて聞いたところ、出していないものが過半数を占め（58.7%）、出したものは41.0%である。年令別では15～19才に多く（49.0%）、性別では女子（61.5%）が男子（24.9%）より多い。学歴についてみると学歴の低い層（中学卒42.3%、高校卒41.7%、短大卒以上27.4%）に手紙を出しているものの割合が高い（第77表）。

第77表 寄宿舍居住青少年の親元への通信状況

(単位 %)

区 分		総 数	手紙を出した	出 さ な い	不 明
総 数		100.0	41.0	58.7	0.3
年 令	15～19才	100.0	49.0	50.8	0.2
	20～24才	100.0	34.7	64.9	0.4
性	男	100.0	24.9	74.6	0.5
	女	100.0	61.5	38.4	0.1
学 歴	中 学 卒	100.0	42.3	57.5	0.2
	高 校 卒	100.0	41.7	58.1	0.2
	短大卒以上	100.0	27.4	71.0	1.6

最近1年の間に親元へ帰っている青少年は84.4%、帰らない青少年は14.9%である。家に帰っているものは、年令では20～24才(87.8%)、性別では男子(85.6%)、学歴別では学歴の高いもの(短大卒以上92.1%)にその割合が多く、手紙を出したものと反対の傾向がみられる。

なお、帰郷の回数をみると3回以上が多く52.1%である(第78表)。

第78表 寄宿舍居住青少年の帰郷状況

(単位 %)

区 分		総 数	帰 っ た					帰 ら な い	不 明
			小 計	1 回	2 回	3 5 ～ 回	6 回 以 上	不 明	
総 数		(100.0)	(84.4) 100.0	27.2	20.3	22.6	29.5	0.4	(14.9)
年 令	15～19才	(100.0)	(80.1) 100.0	24.4	18.2	21.5	35.8	0.1	(19.3)
	20～24才	(100.0)	(87.8) 100.0	29.3	21.8	23.4	24.9	0.6	(11.4)
性	男	(100.0)	(85.6) 100.0	26.1	21.1	23.2	29.6		(13.4)
	女	(100.0)	(82.9) 100.0	28.7	19.3	21.9	29.3	0.8	(16.7)
学 歴	中 学 卒	(100.0)	(81.3) 100.0	25.8	16.9	21.2	35.5	0.6	(18.4)
	高 校 卒	(100.0)	(86.3) 100.0	29.0	24.0	23.6	23.2	0.2	(12.7)
	短大卒以上	(100.0)	(92.1) 100.0	24.0	15.4	24.6	36.0		(6.3)

参 考 資 料

— 附屬統計表 —

— 調 查 票 —

第1表 企業規模および最近1年間の年次有給休暇請求状況別事業所の構成

(単位 名)

企 業 規 模	若 年			層			組					長 ・ 班 長			層			寄 宿 舎			勤 務 者		
	総 数	3 割 未 満	3 ～ 5 割 未 満	5 ～ 8 割 未 満	8 割 以 上	明 不	総 数	3 割 未 満	3 ～ 5 割 未 満	5 ～ 8 割 未 満	8 割 以 上	明 不	総 数	3 割 未 満	3 ～ 5 割 未 満	5 ～ 8 割 未 満	8 割 以 上	明 不	明 不				
総 数	1000	85	5.0	19.5	58.2	8.8	1000	16.7	16.0	28.9	27.7	10.7	1000	22.3	7.9	15.4	38.7	15.7					
1 0 0 0 人 以 上	1010	44	8.8	19.1	55.9	11.8	1000	13.2	22.1	33.8	17.7	13.2	1000	23.5	8.8	17.7	33.8	16.2					
3 0 0 ～ 9 9 9 人	1000	53	3.5	26.3	54.4	10.5	1000	17.6	14.0	29.8	28.1	10.5	1000	12.3	12.3	19.3	40.3	15.8					
1 0 0 ～ 2 9 9 人	1000	9.2	4.1	17.3	62.3	7.1	1000	13.3	15.3	31.6	30.6	9.2	1000	23.5	6.1	15.3	40.8	12.3					
3 0 ～ 9 9 人	1000	12.6	4.2	17.9	57.9	7.4	1000	22.1	13.7	22.1	31.6	10.5	1000	26.3	6.3	11.6	39.0	16.8					

第2表 寄宿舍規模および寄宿舍勤務者の研修内容別事業所の構成 (M. A.)

(単位 %)

寄 宿 舎 規 模	総 数	防犯・防火・寄 宿 舎 物 理 的 管 理	寄 宿 舎 の 人 的 管 理 ・ 運 営	食 品 衛 生 ・ 栄 養 学	科 理	カ ウ ン セ リ ン グ 等 相 談 技 術	レ ク リ エ ー シ ョ ン ・ リ ー ダ ー 研 修	そ の 他 の 職 務 研 修	の 修	明 不
総 数	(20.6) 100.0	9.5	41.3	11.1	3.2	4.8	4.8	4.2.9	1.6	
1 5 0 人 以 上	(63.2) 100.0	8.3	41.7	4.2	4.2	4.2	4.2	6.2.5		
5 0 ～ 1 4 9 人	(29.5) 100.0	7.7	61.5					53.8		
1 5 ～ 4 9 人	(16.3) 100.0	15.0	30.0	20.0	5.0	10.0	5.0	20.0	5.0	
1 ～ 1 4 人	(5.9) 100.0		33.3	33.3			16.7	16.7		

(注) 括弧内数字は、寄宿舍勤務者に研修を行なっている事業所の割合

第3表 事業所規模および寄宿舍における指導員の活動状況別事業所の構成

(単位 %)

事業所規模	総 数	指 導 員 が い る							事業所 い ない	不 明
		小 計	寄 宿 舎 だ け				事業所			
			小 計	事業所の 指導員	自治会の 指導員	事業所・ 自治会		不 明		
総 数	(100.0)	(29.9) 100.0	64.2 100.0	19.7	68.8	6.6	4.9	35.8	(69.8)	(0.3)
500人以上	(100.0)	(58.7) 100.0	70.4 100.0	15.8	73.6	5.3	5.3	29.6	(41.3)	
100～ 499人	(100.0)	(29.9) 100.0	63.2 100.0	8.4	75.0	8.3	8.3	36.8	(69.3)	(0.8)
30～ 99人	(100.0)	(20.0) 100.0	60.0 100.0	38.9	55.5	5.6		40.0	(79.3)	

第4表 寄宿舍規模およびとくによく利用されている寄宿舍の福祉施設別事業所の構成

(単位 %)

寄宿舍規模	総数	談話室	喫茶室	面談室	図書室	自習室	相談室	調理 設備	集会室	その他	とくによく利用 されている 施設はない	不明
総数	100.0	15.7	51.5	2.0	4.0	2.7	0.3	8.4	13.7	5.0	10.7	9.4
150人以上	100.0	18.9	73.0	10.8	13.5	13.5		18.9	10.8	13.5	5.4	
50～149人	100.0	17.8	62.2	2.2	11.1	2.2	2.2	13.3	13.3	4.4	8.9	2.2
15～49人	100.0	14.8	49.2	0.8	1.6	1.6		5.7	16.4	5.7	6.6	13.1
1～14人	100.0	14.7	41.1					5.3	11.6	1.1	18.9	11.6

第5表 寄宿舍規模および寄宿舍内のクラブ・サークル活動に対する事業所1人当たりの援助額別事業所の構成

(単位 %)

寄宿舍規模	総数	金 銭 的 援 助 あ り							金銭的
		1 人 当 り 経 費 額						不 明	援 助 な し
		小 計	1,000円 以下	1,001～ 3,000円 以下	3,001～ 5,000円 以下	5,001～ 7,000円 以下	7,001円 以上		
総 数	100.0	87.9 100.0	11.8	19.6	10.8	6.9	33.3	17.6	12.1
150人以上	100.0	95.6 100.0	13.7	31.8	9.1		22.7	22.7	4.4
50～149人	100.0	92.3 100.0	8.3	20.8	8.3	4.2	25.0	33.4	7.7
15～ 49人	100.0	84.1 100.0	13.5	16.2	13.5	8.1	37.9	10.8	15.9
1～ 14人	100.0	82.6 100.0	10.5	10.5	10.5	15.8	47.4	5.3	17.4

第6表 寄宿舎規模および寄宿舎での男女交流行事別事業所の構成

(単位 %)

寄宿舎規模	総 数	談話室等の 開 放	ダンス・パーティ の 開 催	スポーツ等	そ の 他	不 明
総 数	100.0	24.2	39.6	57.1	38.5	1.1
150人以上	100.0	26.9	57.7	73.1	34.6	4.2
50～149人	100.0	20.8	41.7	70.8	25.0	
15～49人	100.0	26.7	23.3	40.0	50.0	
1～14人	100.0	18.2	36.4	36.4	45.5	

第7表 事業所規模および勤続年数別寄宿舎居住青少年の構成

(単位 %)

事業所規模	総 数	1年未満	1年～2年 未 満	2年～3年 未 満	3年以上	不 明
総 数	100.0	25.5	23.0	17.1	33.5	0.9
500人以上	100.0	26.4	24.9	17.7	30.0	1.0
100～499人	100.0	25.8	23.6	17.6	31.9	1.1
30～99人	100.0	23.4	18.9	15.1	42.3	0.3

第8表 寄宿舎規模および通学状況別寄宿舎居住青少年の構成 (M.A.)

(単位 %)

寄宿舎規模	総 数	学 生 で い る										学ん でい ない	不 明
		小 計	高 校 定 時 制	通 信 制	大 学 ・ 短 大 二 部	三 部	通 信 教 育	職 業 訓 練 施 設	各 種 学 校	そ の 他	不 明		
総 数	(100.0) 100.0	(21.9) 45.3		42	8.2	3.2	0.9	3.1	15.3	20.1	0.2	(77.7)	(0.4)
150人以上	(100.0) 100.0	(32.6) 32.8		6.0	5.7	5.7	0.8	3.4	20.8	25.3		(67.3)	(0.1)
50～149人	(100.0) 100.0	(12.9) 32.9		2.4	13.4	4.9	1.2		15.9	28.1	1.2	(86.2)	(0.9)
15～49人	(100.0) 100.0	(19.3) 59.8		1.0	10.1	1.1	0.5	2.1	12.7	12.7		(80.4)	(0.3)
1～14人	(100.0) 100.0	(21.3) 59.5		6.3	7.2		1.8	6.3	6.3	14.4		(78.3)	(0.4)

第11表 年令およびこの前の休日の余暇の過ごし方別寄宿舎居住青少年の構成(M.A.)

(単位%)

区 分	総 数	週 休 日 1										週 休 日 2										明										
		週					休					日					休						日									
		小	ラ	新	ス	将	映	け	デ	友	休	ド	帰	ハイ	宿	の	小	ラ	新	ス	将		映	け	デ	友	休	ド	帰	ハイ	宿	の
総 数	(1000)	(847)	1000	281	128	54	145	123	112	286	244	124	85	68	20	161	(147)	1000	461	275	132	69	113	153	160	310	245	102	97	56	42	155
15～19才	(1000)	(849)	1000	289	129	36	137	130	88	335	247	91	93	57	16	172	(127)	1000	497	242	139	61	158	127	176	345	200	67	153	48	0.6	127
20～24才	(1000)	(830)	1000	449	275	69	152	117	133	245	240	151	79	76	23	151	(151)	1000	438	296	127	75	86	176	150	288	273	124	75	60	64	172
中学卒	(1000)	(905)	1000	568	263	41	144	124	109	323	223	104	92	43	13	144	(87)	1000	436	214	77	51	137	145	171	248	154	77	111	45	17	111
高校卒	(1000)	(806)	1000	454	290	58	149	128	117	251	257	140	75	93	24	175	(189)	1000	494	300	157	71	109	154	169	363	255	120	86	60	49	180
短大卒以上	(1000)	(747)	1000	401	366	144	127	70	106	239	310	162	106	70	35	183	(553)	1000	533	292	125	104	83	208	83	167	417	63	125	63	63	125

第12表 年令、性、学歴および週休2日制導入による余暇のすごし方の変ばり状況別寄宿舎居住青少年の構成 (M.A.)

区分	総数	変わつた(どう変わったか)										変わらない					(単位 多)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		小	ラジオ・ オ・テレビ	新聞・雑誌・ 週刊・等	スポーツ	将棋・ マ・室内・ 遊・遊・ 遊・遊・ 遊・遊・	映画・ス・ ポ・演・音・ 見・物・	けいこ・ こと・趣・ 味・	デ・ イ・ト	友人・と・ 雑・談・	休・ 養・	ド・ ラ・イ・ ブ・	帰・ ハ・ イ・ キ・ ン・ グ・ 等・ 日・ 行・	宿・ 泊・ 旅・ 行・	その他	不明	不																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
																		小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計

第13表 年令および手取り給与額の分布ならびに平均手取り給与額別寄宿舎居住青少年の構成

年令	総数	小計	3万円未満	3万円~5万円未満	5万円~7万円未満	7万円以上	平均手取り給与額	不明
総数	(100.0)	188.8	13.6	70.3	14.4	1.7	3,953.2円	(3.4)
15~19才	(100.0)	188.8	24.3	71.8	3.6	0.3	3,440.8	(3.1)
20~24才	(100.0)	188.8	5.1	69.2	22.9	2.8	4,357.5	(3.7)

第14表 年令および生活基本費の分布ならびに平均生活
基本費別寄宿舎居住青少年の構成

(単位 円)

年 令	総 数	小 計	5,000円 未 満	5,000円 ～7,000 円 未 満	7,000円 ～10,000 円 未 満	10,000円 ～15,000 円 未 満	15,000 円 以上	平均生活 基本 額	不明
総 数	(100.0)	(96.4) 100.0	21.6	38.7	21.9	12.7	5.1	7,249 円	(3.6)
15～ 19才	(100.0)	(96.4) 100.0	24.5	44.9	19.9	8.5	2.2	6,609	(3.6)
20～ 24才	(100.0)	(96.5) 100.0	19.4	33.8	23.5	16.0	7.3	7,750	(3.5)

第15表 年令および教養娯楽費の分布ならびに平均
教養娯楽費別寄宿舎居住青少年の構成

(単位 円)

年 令	総 数	小 計	5,000 円未満	5,000 ～10,000 円未満	10,000 ～15,000 円 未 満	15,000 ～25,000 円未満	25,000 ～30,000 円未満	30,000 円 以上	平 均 教 養 娯 楽 費	な し	不明
総 数	(100.0)	(84.0) 100.0	28.0	23.9	23.0	20.4	1.8	2.9	9,690 円	(11.0)	(5.0)
15～ 19才	(100.0)	(83.6) 100.0	38.9	28.5	19.1	11.8	1.0	0.7	7,352	(10.4)	(6.0)
20～ 24才	(100.0)	(84.3) 100.0	19.4	20.4	26.0	27.1	2.4	4.7	11,509	(11.5)	(4.2)

第16表 年令および親元への送金額の分布ならびに平均
送金額別寄宿舎居住青少年の構成

(単位 円)

年 令	総 数	小 計	5,000 円未満	5,000 ～10,000 円未満	10,000 ～15,000 円未満	15,000 ～25,000 円未満	25,000 円 以上	平 均 送 金 額	な し	不明
総 数	(100.0)	(22.1) 100.0	17.8	38.2	30.6	11.5	1.9	8,123 円	(71.7)	(6.2)
15～ 19才	(100.0)	(27.0) 100.0	19.7	38.6	32.6	7.7	1.4	7,740	(63.9)	(9.1)
20～ 24才	(100.0)	(18.2) 100.0	15.6	37.8	28.2	16.0	2.3	8,569	(77.9)	(3.9)

第17表 年令および貯金額の分布ならびに平均貯金額
別寄宿舎居住青少年の構成

(単位 円)

年 令	総 数	小 計	5,000 円未満	5,000 ～10,000 円未満	10,000 ～15,000 円未満	15,000 ～25,000 円未満	25,000 円 以上	平 均 貯 金 額	な し	不明
総 数	(100.0)	(76.6) 100.0	6.9	20.9	39.6	27.2	5.4	11,967 円	(19.6)	(3.8)
15～ 19才	(100.0)	(79.2) 100.0	9.5	23.3	42.8	22.7	1.7	10,722	(17.0)	(3.8)
20～ 24才	(100.0)	(74.6) 100.0	4.8	18.9	36.9	30.9	8.5	13,003	(21.6)	(3.8)

第18表 寄宿舎規模、年令、学歴および寄宿舎生活の意識別寄宿舎居住青少年の構成 (M.A.)

区 分	総 数	よ い				わ る い				あ ま	不 明				
		小 計	い つ も 友 だ ち と 一 つ で し	生 活 ま が 安 く す る の で よ い	集 団 生 活 は 自 分 を 養 う の 機 会 と 思	そ の 他	不 明	小 計	い つ も 誰 か と 一 緒 な の で 気 が 減 れ る			会 社 や 自 治 会 の 管 理 が う る さ い	職 場 で 不 快 な こ と が あ つ た と 思 っ て ま だ 達 ま れ る	そ の 他	不 明
総 数	(1000)	(170) 1000	40.4	47.9	39.2	8.2	1.0	(19.4) 1000	34.4	30.6	19.9	32.0	2.6	(63.2)	(0.4)
宿 舎 規 模	150人以上	(197) 1000	36.9	42.5	53.8	9.4	0.6	(17.1) 1000	41.7	28.1	20.9	36.0	2.2	(63.1)	(0.1)
	50~149人	(158) 1000	40.6	51.5	30.7	5.9	1.0	(21.6) 1000	52.5	44.6	26.3	47.5	3.0	(61.8)	(0.8)
	15~49人	(163) 1000	47.2	49.7	34.0	5.7	1.9	(20.0) 1000	29.1	33.2	16.8	26.5	3.1	(63.5)	(0.2)
	1~14人	(159) 1000	33.7	50.6	31.3	13.3		(19.0) 1000	29.3	26.3	25.3	33.3	3.0	(64.5)	(0.6)
年 令	15~19才	(148) 1000	45.3	35.9	44.8	6.8	0.5	(20.4) 1000	34.7	35.8	17.7	30.6	1.9	(64.7)	(0.1)
	20~24才	(188) 1000	37.3	55.3	35.7	9.0	1.3	(18.6) 1000	34.2	26.1	21.8	33.2	3.3	(62.0)	(0.6)
学 歴	中学卒	(167) 1000	42.9	32.6	43.8	5.4	0.9	(20.0) 1000	29.1	38.1	23.9	26.9	3.7	(63.0)	(0.3)
	高校卒	(171) 1000	38.5	59.0	34.8	9.4	1.2	(18.1) 1000	37.0	24.5	16.7	35.4	1.9	(64.4)	(0.4)
	短大卒以上	(184) 1000	37.1	68.6	40.0	17.1		(24.7) 1000	51.1	21.3	14.9	42.6		(55.8)	(1.1)

第19表 企業規模、年齢および寄宿舎生活の継続意識別寄宿舎居住青少年の構成

(単位 %)

区 分	総 数	出たいと思う	その時になつてみてみなければわからない	結婚するまでは出るつもりはない	そ の 他	不 明
総 数	100.0	25.3	48.0	21.8	4.3	0.6
企 業 規 模	1,000人以上	25.0	45.4	25.1	4.0	0.5
	300~999人	27.8	46.0	20.7	4.5	1.0
	100~299人	26.1	52.1	16.6	4.6	0.6
	30~99人	21.3	51.0	22.7	4.3	0.7
年 令	15~19才	23.3	57.8	12.3	5.7	0.9
	20~24才	26.9	40.3	29.3	3.1	0.4

第20表 企業規模、寄宿舎設置年月および苦情やなやまごとの有無、内容別寄宿舎居住青少年の構成 (M. A.)

区 分	総 数	あ り														な	不											
		人 間 関 係			施 設 ・ 設 備 な ど			管 理 運 営 面					そ の 他															
		小	計	他	小	計	他	小	計	他	小	計	他	小	計			他										
		小	計	他	小	計	他	小	計	他	小	計	他	小	計			他										
企 業 規 模	総 数	(829) 100.0	535 100.0	147 100.0	117 100.0	95 100.0	673 151	819 100.0	283 100.0	285 100.0	310 100.0	565 100.0	604 100.0	117 100.0	50 100.0	344 100.0	303 100.0	568 100.0	264 100.0	255 100.0	115 100.0	836 100.0	1000 100.0	377 100.0	726 100.0	465 100.0	42 100.0	
	1000人以上	(871) 100.0	528 100.0	168 100.0	98 100.0	74 100.0	647 186	792 100.0	292 100.0	248 100.0	246 100.0	297 100.0	645 100.0	131 100.0	53 100.0	330 100.0	597 100.0	577 100.0	281 100.0	206 100.0	104 100.0	862 100.0	1000 100.0	578 100.0	749 100.0	473 100.0	45 100.0	
	500～999人	(813) 100.0	554 100.0	162 100.0	125 100.0	92 100.0	658 136	872 100.0	301 100.0	308 100.0	555 100.0	450 100.0	617 100.0	105 100.0	55 100.0	340 100.0	293 100.0	443 100.0	257 100.0	174 100.0	90 100.0	809 100.0	1000 100.0	550 100.0	708 100.0	461 100.0	60 100.0	
	100～299人	(813) 100.0	550 100.0	131 100.0	125 100.0	144 100.0	706 112	852 100.0	247 100.0	522 100.0	342 100.0	425 100.0	561 100.0	124 100.0	58 100.0	394 100.0	219 100.0	254 100.0	254 100.0	353 100.0	116 100.0	844 100.0	1000 100.0	408 100.0	702 100.0	473 100.0	27 100.0	
	30～99人	(760) 100.0	491 100.0	84 100.0	151 100.0	78 100.0	717 133	772 100.0	287 100.0	295 100.0	329 100.0	544 100.0	540 100.0	76 100.0	50 100.0	314 100.0	189 100.0	462 100.0	236 100.0	179 100.0	104 100.0	778 100.0	1000 100.0	361 100.0	719 100.0	426 100.0	30 100.0	
設 置 年 月	昭和40年以降	(835) 100.0						831 100.0	309 100.0	245 100.0	308 100.0	571 100.0	604 100.0	125 100.0	52 100.0	326 100.0	537 100.0	369 100.0	251 100.0	216 100.0	103 100.0							(162) 100.0
	昭和50年～59年	(809) 100.0						824 100.0	265 100.0	314 100.0	354 100.0	380 100.0	612 100.0	103 100.0	45 100.0	540 100.0	228 100.0	362 100.0	272 100.0	276 100.0	116 100.0							(189) 100.0
	昭和29年以前	(850) 100.0						756 100.0	206 100.0	300 100.0	197 100.0	292 100.0	584 100.0	116 100.0	56 100.0	438 100.0	341 100.0	378 100.0	269 100.0	215 100.0	89 100.0							(149) 100.0

第21表 企業規模および苦情やなみごとの相談相手別寄宿舎居住青少年の構成（M.A.）

（単位：%）

企業規模	総数	あ										なし	不明	
		小計	舎監・寮母等	自治会の役員	同じ部屋の人	先輩社員上司	友				親きょうだい			その他
							小計	寄宿舎内	職場内	その他				
総数	(100.0)	(91.6) 100.0	3.9	0.6	16.4	23.2	74.9 100.0	43.5	28.3	59.7	31.1	6.1	(7.2)	(1.2)
1000人以上	(100.0)	(93.1) 100.0	4.9	0.7	20.0	23.8	79.5 100.0	50.2	39.1	34.7	30.0	6.1	(6.0)	(0.9)
300～999人	(100.0)	(90.6) 100.0	3.7	0.4	14.1	23.8	74.2 100.0	39.4	25.4	42.4	28.3	6.9	(7.9)	(1.5)
100～299人	(100.0)	(91.1) 100.0	2.5	0.5	13.6	21.2	70.5 100.0	40.0	28.0	44.0	32.8	7.1	(7.6)	(1.3)
30～99人	(100.0)	(89.7) 100.0	2.2	0.3	8.5	15.0	42.9 100.0	33.6	27.4	44.5	22.1	2.0	(9.0)	(1.5)

寄宿舎に生活する勤労青少年に関する調査

寄宿舎管理票(事業所票)

(47年11月)

労働省 若年人少年局

秘

勤労青少年 室 名		勤労青少年 管理番号		事業所名		調査月日	月 日	調査者氏名	
--------------	--	---------------	--	------	--	------	-----	-------	--

I 事業所の概況

(1) 企業規模等

企業規模	事業所規模	業 種 分 類
1 1000人以上	1 500人以上	1 食 料 品 5 金属製品
2 500～999人	2 100～499人	2 繊維工業 6 一般機械器具
3 100～299人	3 50～99人	3 衣服その他の繊維製品
4 50～99人	4 50～99人	4 化学工業 7 電気機械器具

(2) 勤労青少年数

常用労働者総数	小 計	青少年数 (15～24才)	
		15～19才	20～24才
計	人	人	人
男	人	人	人
女	人	人	人

(3) 学年者の最近約2年間の地域別採用状況

区 分	計	中 学	高 校
計	10 割	10 割	10 割
通勤採用者	約 割	約 割	約 割
通学採用者	約 割	約 割	約 割

(4) 最近1年間の年次有給休暇請求状況

若 年 層	1 規定の約()割	2 不 明
組長・班長層	1 規定の約()割	2 不 明
寄宿舎勤務者	1 規定の約()割	2 不 明

(5) そ の 他

又替制の採用状況	1 あり { 2 又替制 3 又替制 その他 }	2 な し
----------	--------------------------------	-------

II 寄宿舎の概況

(1) 管理部門等

寄宿舎の管理部門	寄宿舎数
部 課	

(2) 居住者数

寄宿舎居住者総数	小 計	青少年数 (15～24才)	
		15～19才	20～24才
計	人	人	人
男	人	人	人
女	人	人	人

(3) 構造等(該当のすべてに○印をしてください)

設 置 の 概 観	
1 木 造	1 単独設置 { 1 単独設置 2 フランジ式・戸建 3 事業所に併設 4 社宅に併設 }
2 鉄筋・鉄骨	2 げんばき式 { 1 単独設置 2 フランジ式・戸建 3 事業所に併設 4 社宅に併設 }
3 プレハブ	3 その他

(4) 事業所までの距離

通勤時間	徒歩	分	計	分
	電車、バス等利用			

(5) 費 用 状 況

費 用 内 容	寄宿舎費用	門 限
1 寄宿費 月	円	1 有 2 無
2 食費 月 { 男 女 }	円	1 有 2 無
(給食 有 1日()食・無)	円	1 有 2 無
3 その他 月	円	1 有 2 無
()		

III 寄宿舎勤務者の概況

(1) 勤務者の状況

職 名	職 務 内 容	専任・兼任 の 別	性 別	人 員	通勤・寄宿 舎居住者

(2) 費用運営について話し合いの機会

会 合 名	年(月)開回数
1 職員会(寄宿舎担当職員を含む)	
2 日直会との話し合い	
3 関係者との話し合い	
4 その他()	

N 青少年が寄宿舎生活に適応するための配慮

(1) 同業者の選定はどういう方法で定めていますか

1 主管課が定める	4 寄宿舎管理責任者と自治会と で定める
2 寄宿舎管理責任者にまかせる	5 その他
3 自治会にまかせる	()

(2) 寄宿舎勤務者を「勤労青少年福祉推進者」に選任していますか

1 いる	2 いない
------	-------

(3) 寄宿舎内で、先輩社員による指導員(ブザー・シスター等)が活動していますか

1 いる	2 いない
------	-------

○それは寄宿舎だけでなく会社全体ですか

1 寄宿舎だけ { 1 会社の指導員 2 自治会の指導員 }	2 会社全体
-----------------------------------	--------

□効果がありますか

1 ある	2 あまりない	3 その他()
------	---------	----------

(事1～1)

(4) 寄宿舎内でワークショップを行なっていますか

1 <u>い</u> る	2 <u>い</u> ない
--------------	---------------

○それは寄宿舎だけで会社全体ですか

1 <u>寄宿舎だけ</u>	イ 会社で ロ 自治会で	2 会社全体
----------------	-----------------	--------

○だれが施設を受けていますか

相 談 者 の 職 名	

(5) 寄宿舎内でレクリエーション・リーダーが活動していますか

1 <u>い</u> る	2 <u>い</u> ない
--------------	---------------

○それは寄宿舎だけで会社全体ですか

1 <u>寄宿舎だけ</u>	イ 会社のリーダー ロ 自治会のリーダー	2 会社全体
----------------	-------------------------	--------

(6) 寄宿舎内にクラブ・サークル活動（お茶・いけ花教室等も含めます）がりますか。おもなものを5つ程度あげてください

1 <u>あ</u> る	イ ロ ハ	2 <u>な</u> い
--------------	-------------	--------------

○会社で金銭的な援助を行なっていますか

1 <u>い</u> る	2 <u>い</u> ない
--------------	---------------

半額 約()円	1人当たり 約()円
-----------------	--------------------

(7) この1年間に寄宿舎居住青少年が参加した主な行事を5～6つあげてください。「行事」欄に行事名を、「参加状況」欄には、寄宿舎居住者の参加状況を「約()割」と記入してください

行 事	主 催	参加状況

(注) 「主催」欄は、「(寄)」（寄宿舎で会社主催）、「(自)」（自治会主催）、「(共)」（会社、自治会共催）、「(会)」（顧客で会社主催）等の別を記入してください。

(8) 寄宿舎で男女交流の機会を設けていますか

1 <u>い</u> る	2 <u>い</u> ない
--------------	---------------

○どこで交流していますか

1 <u>会社内</u>	2 <u>他の会社</u>	3 <u>地域社会</u>	4 <u>その他</u> ()
--------------	---------------	---------------	-------------------------

○どんなことをやっていますか

1 <u>談話室等の開放</u>	3 <u>スポーツ交歓等</u>
2 <u>ダンスパーティーの開催</u>	4 <u>その他</u> ()

(9) 寄宿舎内にどんな福祉施設がありますか（該当のすべてに○印をしてください）

談話室	読書室	面談室	図書室	自習室	相談室	調理設備	集會室	その他
有無	有無	有無	有無	有無	有無	有無	有無	有無

○とくによく利用されているものをあげてください

V 居住者の世帯や事故

(1) この1年間に居住青少年に苦情がありましたか

1 <u>あ</u> り	2 <u>な</u> し
--------------	--------------

○内容は？（該当のすべてに○印をしてください）

1 <u>食事</u> がある	5 <u>自家用車を</u> おけない
2 <u>居室が</u> せまい	6 <u>管理側側の世話</u> をいやがる
3 <u>設備</u> がある	7 <u>その他</u>
4 <u>門限</u> が早い	()

(2) この1年間に居住青少年と寄宿舎勤務者との間にもめどがありましたか

1 <u>あ</u> り	2 <u>な</u> し
--------------	--------------

○原因（該当のすべてに○印をしてください）

1 <u>食 事</u>	5 <u>一般的に寄宿舎の規律</u>
2 <u>共有施設の利用</u>	6 <u>人間関係</u>
3 <u>集居生活のエネルギー</u>	7 <u>その他</u>
4 <u>門 限</u>	()

(3) この1年間に寄宿舎内で事故などがありましたか

1 <u>あ</u> り	2 <u>な</u> し
--------------	--------------

○内容（該当のすべてに○印をしてください）

1 <u>急病人</u>	6 <u>ノイローゼ</u> など
2 <u>多い病名</u> ()	7 <u>シンナー、睡眠薬</u> など
3 <u>火災、ぼや</u>	8 <u>無断外出</u>
4 <u>盗 難</u>	9 <u>その他居住青少年の非行</u>
5 <u>居住青少年保有の車の事故</u>	10 <u>その他</u>
6 <u>異性問題</u>	()

Ⅵ その他

(1) 寄宿舎勤務者の教育を行なっていますか

1 <u>い</u> る	2 <u>い</u> ない
--------------	---------------

○この1年間のことを書いてください

職 名	研修・講習会名	主催（社内・社外の別）	研修回数

(2) 寄宿舎設置の理由をお聞かせ下さい（該当2つ以内○印をしてください）

1 <u>通称地帯利用者の福祉施設</u>	4 <u>職元の要望</u>
2 <u>交替制</u> をしているから	5 <u>そ の 他</u>
3 <u>2以上の卒業修習上の必要</u>	()

(3) 管理上男子寮と女子寮では気づかいが違いますか

1 <u>違 う</u>	2 <u>同 じ</u>	3 <u>不 明</u> 何ともいえない
--------------	--------------	-------------------------

寄宿舎に生活する勤労青少年に関する調査

勤 労 青 少 年 票

(47年11月)

秘

労働省青少年局

全勤労青少年 票名	労働者の年 齢番号	家企業規模	事業所規模	寄宿舎規模	寄宿舎 設置年月	年 月	自治会	1 有 2 無
業種分類	1 食 料 品	5 金 属 製 品	1 1000人以上	1 500人以上	1 150人以上	調査年月日	月 日	調査員 氏 名
	2 機 械 工 業	6 一般機械器具	2 300~999人	2 100~499人	2 50~149人			
	5 衣服その他の繊維製品	7 電気機械器具	3 100~299人	3 50~99人	3 15~49人			
	4 化 学 工 業	4 30~99人	4 1~14人	4 1~14人				
寄宿舎名						TEL		

記入上の注意： ① 同式ことおりのない場合「一つだけ」番号に○印をつけ空欄に記入してください。空印は記入しないでください。

問1 あなたの性、年令、学歴などは？

性	年 令	最後に卒業した学校	出 身 地
1 男	1 中 学 生	1 通学できるところ	
2 女	2 高 校 生	2 通学はなれたところ	
	3 短 大 卒 以 上		

問2 寄宿舎の部屋のことや勤務年数などをあつねします

青 年 寮 の 区 分	寄宿舎に入居後の年数	勤 続 年 数
1 個室	年 月	年 月
2 自居屋		

問3 あなたが職場でしている仕事は何ですか？

1 現地で働いている	2 仕事をやっている	3 その他()
------------	------------	----------

問4 あなたはどのような形の勤務をしていますか？

1 土曜日の終りまでの勤務	2 交代制のある勤務(イ・2交代制 = 3交代制 = その他)
---------------	---------------------------------

問5 あなたは今学校などに通学していますか？

1 いる	2 いない
------	-------

①どこに通学していますか？(会社の中にある学校などもふくめます)

1 高 校	2 定時制	3 職業訓練施設
2 大学、短大	4 通信制	4 オープン、雑誌、自動車 教習所等の各種学校
	5 その他()	

(注)・①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

問6 みだり自分で勉強や読書などをするとときには、おもにどこでしますか？

1 居 室	2 学習室、図書室など寄宿舎内 の施設
-------	------------------------

①あなたの寄宿舎には、学習室など勉強や読書のための施設がありますか？

1 あり	2 ない
------	------

②なぜ利用しませんが？(学習室 などがほしいですが)

1 図書が勉強しやすい	1 なくても困らない
2 職員で利用できない	2 あった方が便利
3 その他	3 その他
()	()

問7 あなたの余暇(仕事や身のまわりのことをしなかつたり、学校などに行かない自由な時間)についてあつねします。

(1) 先週の平日とこの前の休日はおもにどこで過ごしましたか？

(平日と休日のあてはまる欄に○印をしてください)

余暇をおもに過ごした場所		先週の平日	この前の休日
宿 舎	宿 舎 内		
	体 育 施 設		
会 社 の 施 設	そ の 他		
	遊 楽 場		
喫茶店、スナックなどの飲食店			
市町村立などの体育文化施設			
そ の 他			

(2) 先週の平日とこの前の休日はおもに何をして過ごしましたか？

(平日、休日のあてはまる欄に4つ以内ずつ○印をください)

余 暇	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14
	1 読 書 2 休 息 3 遊 楽 4 学 習 5 就 業 6 通 勤 7 通 学 8 通 勤 9 通 学 10 通 勤 11 通 学 12 通 勤 13 通 学 14 通 勤
先週の平日	
この前の休日	

問8 あなたの会社では、過去2年間のうちに週休2日制がとり入れられていますか？

1 いる	2 いない
------	-------

①余暇の過ごし方が変わりましたか？

1 変わった	2 変わらない	3 その他()
--------	---------	----------

②どう変わりましたが？(なぜ変わりましたが？)

1 何をすることが多くなりましたか上の番号[問7の(1)]で答えてください	1 小づかいにゆとりがない
2 その他	2 勉強がよいそがしい
()	3 遊び方がわからない
	4 何をしてもよいかわからない
	5 その他
	()

問9 賃金（10月の税引き手取り額）をおおよそどのようにつかっていますか

10月手取り給与（	）円
1 寮 費 約（	）円
2 食 費 約（	）円
3 日 給 会 費 約（	）円
4 住 費 約（	）円
5 教 養・娯 楽 費 約（	）円
6 開 元 へ の 送 金 約（	）円
7 貯 金 約（	）円
8 そ の 他 約（	）円

問10 あなたの寄宿舎の住みごこちはいかがですか

1 よい	2 まあまあ	3 わるい
------	--------	-------

○それはなぜですか（該当のすべてに○印をしてください）

1 いつも友達と一緒に楽しい	1 いつも誰かと一緒になので寂しが れる
2 生活費が安くすむのでよい	2 会社や自営の管理がうるさい
3 寮生活は自分を磨くよい機会 と思う	3 職歴で不利なことがあったとき もわかる
4 その他（	4 その他（

問11 給料が上つたら間借りなどをして寄宿舎を出たいと思いますか

1 出たいと思う	3 結婚するまでは、出るつもりは ない
2 その時になってみなければ、 わからない	4 その他（

問12 あなたは今なやみごとなどがありますか

1 ある	2 ない
------	------

○それはどんなことですか

（なやみごとのすべてに○印をしてください。その中で一ばんなやんでいること
には○印をしてください）

人 間 関 係	1 同じ部屋の人とうまくいかない
	2 寄宿舎内の先輩社員とうまくいかない
	3 舎監、寮母などとうまくいかない
	4 何となく私生活が干渉される
	5 その他（
施 設 ・ 設 備 な ど	1 居室がせまい
	2 洗たく場や浴室などの生活設備のこと
	3 運動設備のこと
	4 娯楽設備のこと
	5 食事がわるい
	6 消灯時間後に読書や勉強をする場所がない
	7 その他（
管 理 ・ 運 営 面	1 外泊する時の手続きがめんどう
	2 門限がきびしい
	3 舎監や寮母が世話をやきすぎる
	4 舎監や寮母にはもつと親のように面倒をみてもらいたい
	5 その他（
そ の 他	1 恋愛、結婚など異性のこと
	2 自分の生き方のこと
	3 仕事のこと
	4 その他（

問13 人間関係や恋愛などのなやみごとはだれに相談しますか

（あてはまる数字のすべてに○印をしてください）

1 舎監、寮母等	6 親、きょうだい
2 日 給 会 の 役 員	7 相談する人がいない
3 同じ部屋の人	8 そ の 他
4 先輩社員、上司	（
5 友人	
イ 寄宿舎内 ロ 職場内 ハ その他	

問14 この2カ月の間に親元へ手紙を出しましたか

1 出した	2 出さない
-------	--------

問15 この1年間に親元へ帰りましたか

1 帰った（	）回	2 帰らない
--------	----	--------

GAa1

労働省婦人少年局



女性と仕事の未来館



00764679